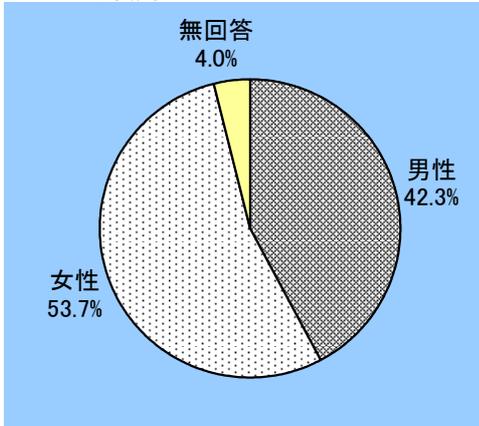


平成21年度香川県男女共同参画社会に関する意識調査の結果について (経年比較／全国比較)

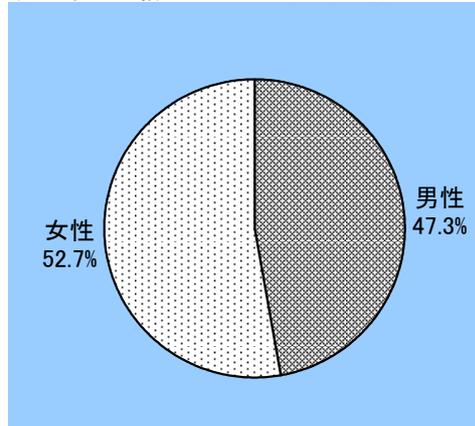
■ 回答者属性

【性別】

平成21年度調査



香川県人口構成(平成21年10月現在)

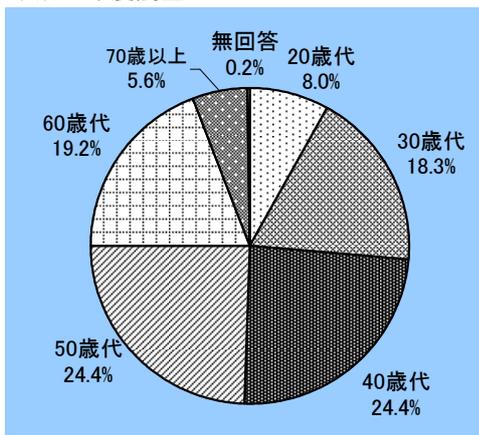


実際の人口構成と比べ、女性の回答率がやや高く、男性が低い。

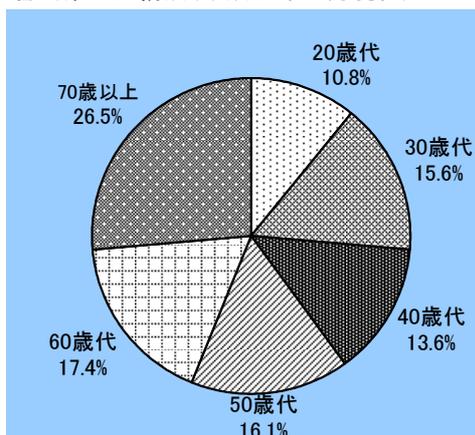
【年代別】

(女性)

平成21年度調査

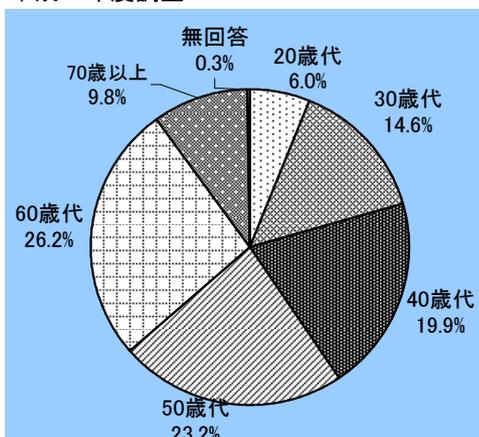


香川県人口構成(平成21年10月現在)

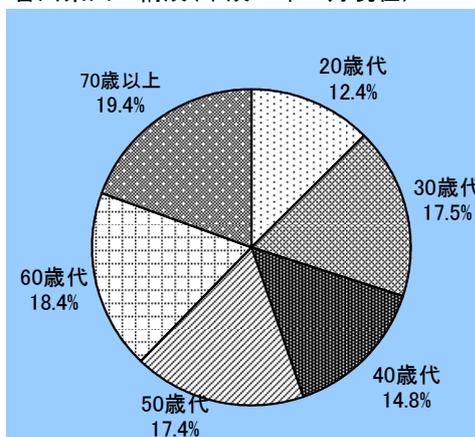


(男性)

平成21年度調査



香川県人口構成(平成21年10月現在)



実際の人口構成と比べ、

女性では、40歳代、50歳代の回答率が高く、70歳以上が少ない。

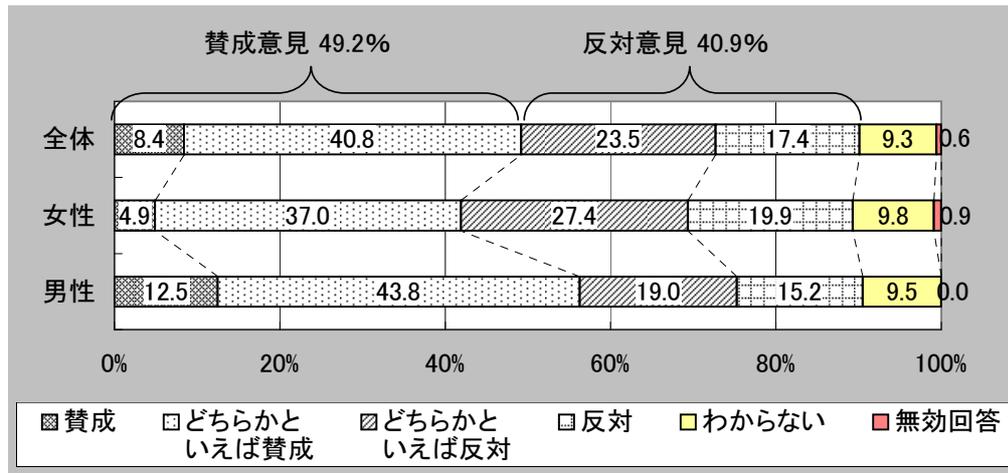
男性では、40歳～60歳代の回答率が高く、20歳代、70歳以上が少ない。

■ 主な調査結果

1 家庭生活と家族観について

① 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について

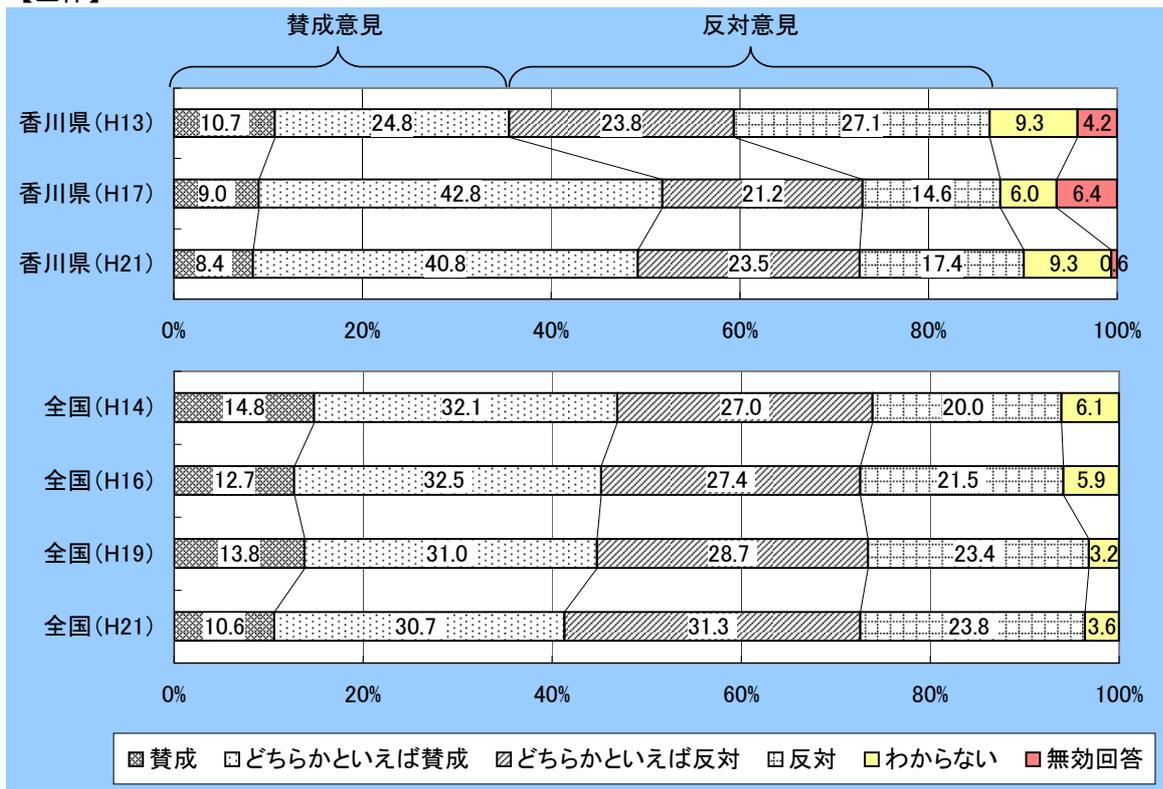
(問1-①)



女性では反対（47.3%）が賛成（41.9%）を上回ったのに対し、男性では賛成（56.3%）が反対（34.2%）を上回った。

〔経年／全国比較〕

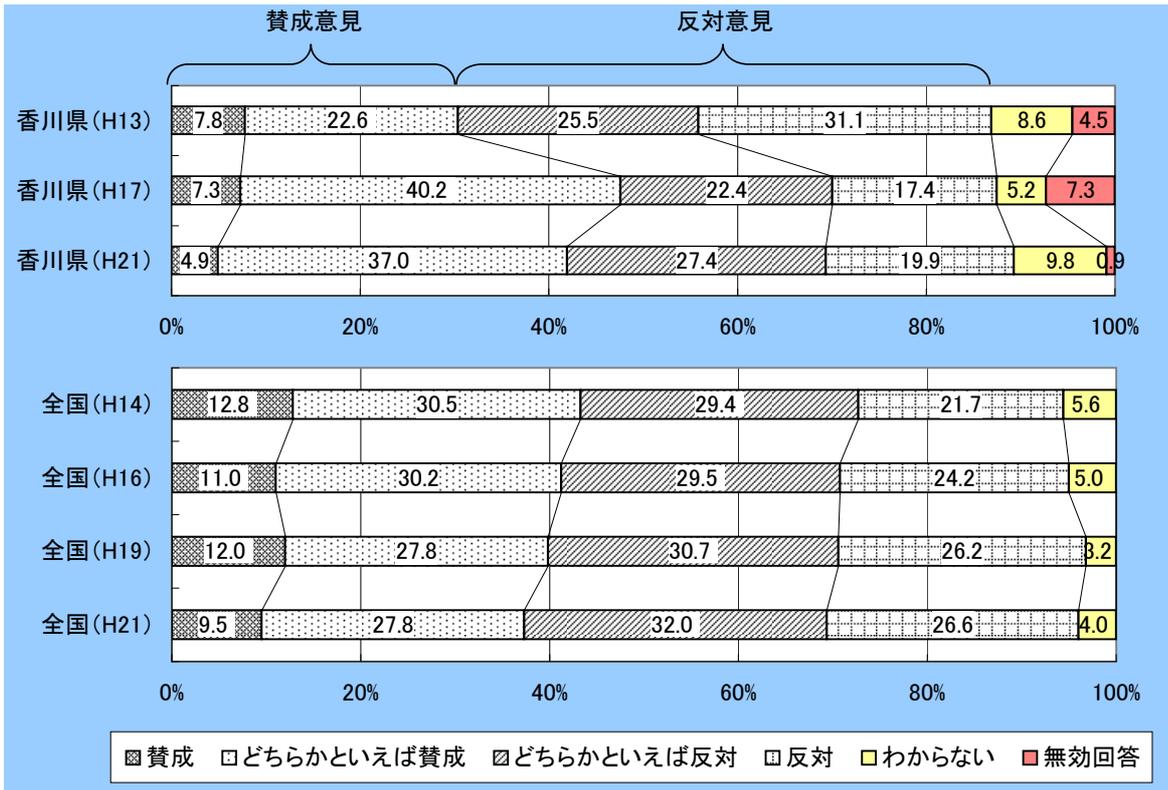
【全体】



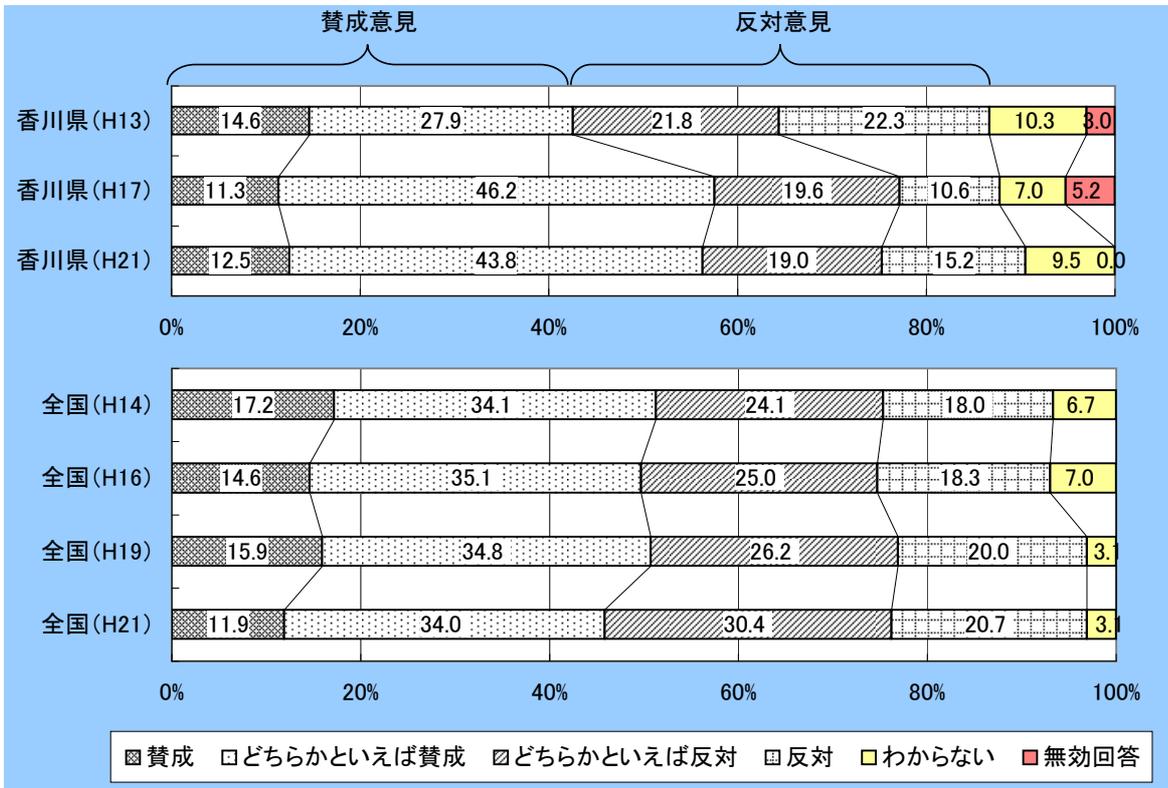
- ・平成13年度調査では反対意見が半数を超えていたが、今回調査では賛成意見が反対意見を上回った。
- ・平成17年度調査と比較すると、賛成意見がやや減少、反対意見がやや増加した。
- ・全国調査と比較すると、賛成意見が多く、反対意見が少ない。

【性別】

(女性)



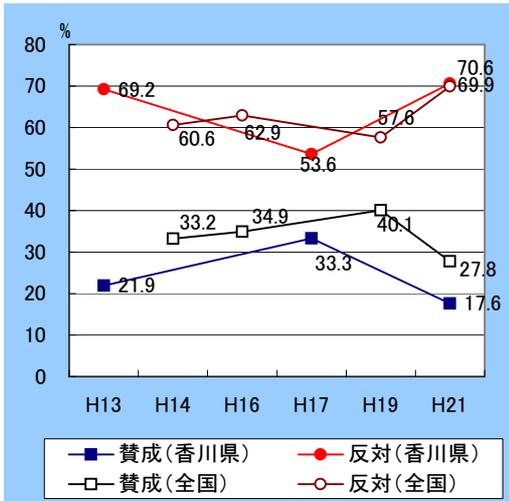
(男性)



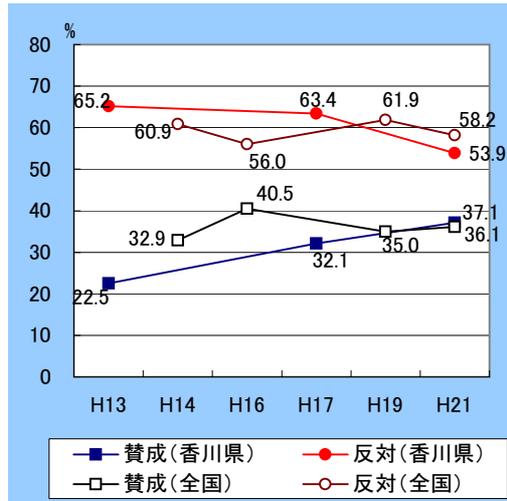
- ・平成13年度調査と比較すると、男女とも、賛成意見が増加、反対意見が減少した。
- ・平成17年度調査と比較すると、男女とも、賛成意見が減少、反対意見が増加した。
- ・女性では、平成17年度調査では賛成意見が反対意見を上回っていたが、今回は反対意見が賛成意見を上回った。

【性別／年代別】

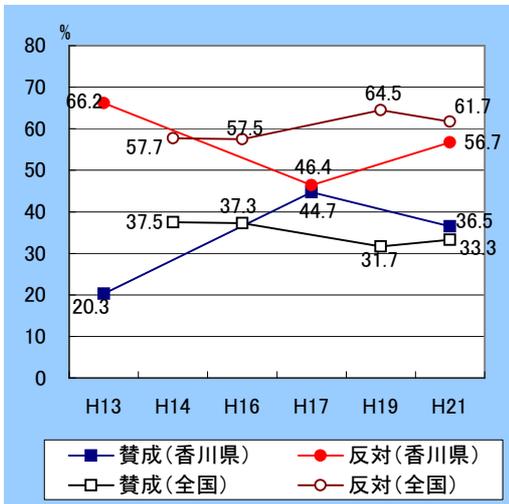
(女性)
(20歳代)



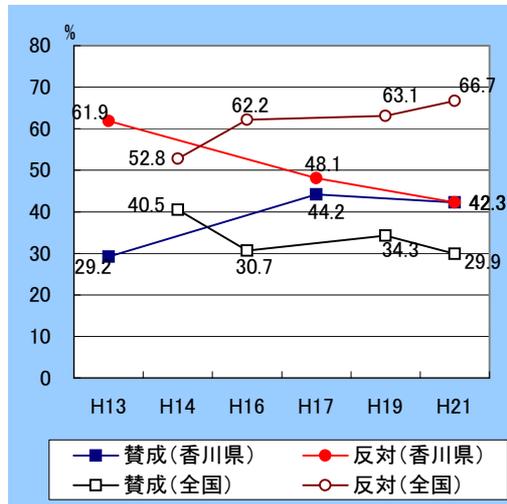
(30歳代)



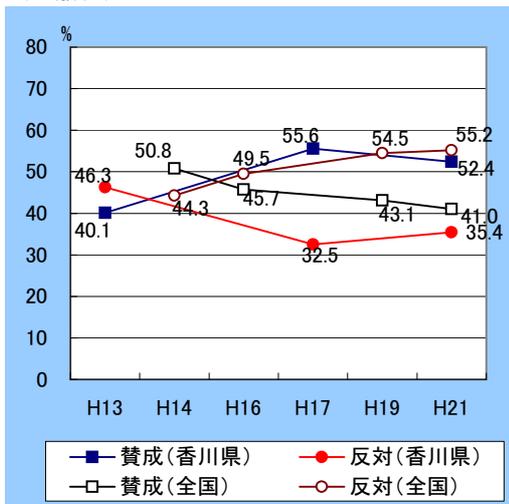
(40歳代)



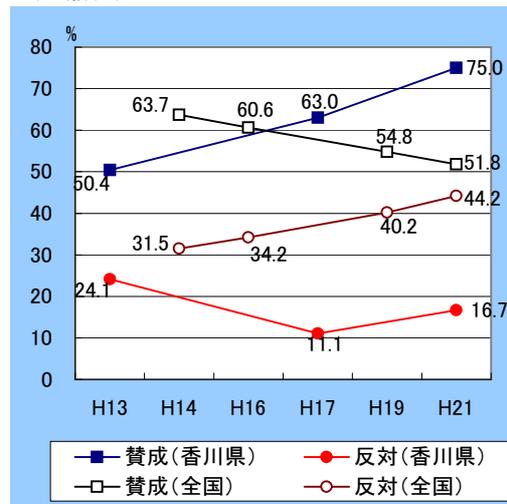
(50歳代)



(60歳代)



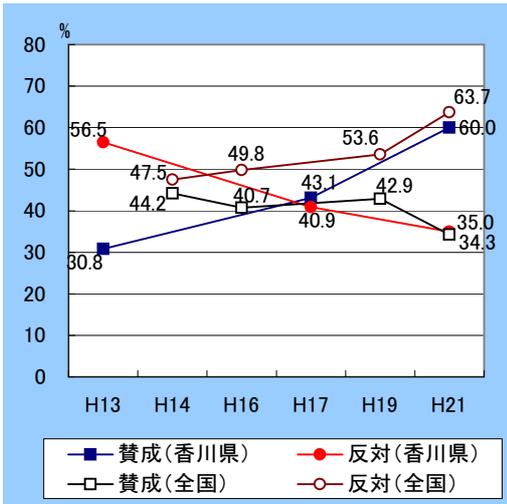
(70歳代)



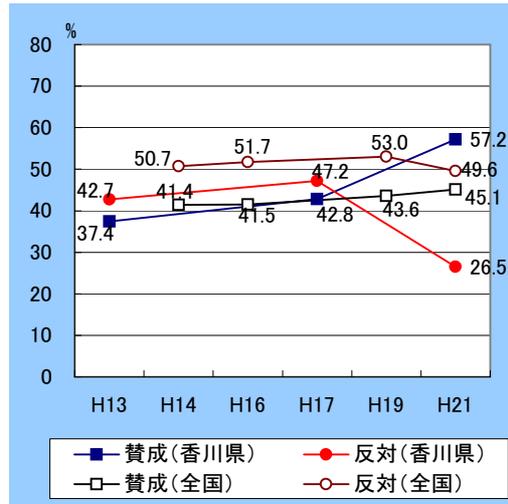
- ・ 20歳代、40歳代、60歳代で、賛成意見が減少し、反対意見が増加した。
- ・ 30歳代、50歳代、70歳以上では、賛成意見の増加、又は反対意見の減少、あるいはその両方が見られた。
- ・ 20歳代を除く全ての年代で、全国調査に比べ、賛成意見が多く反対意見が少なく、50歳代～70歳以上でその差が大きい。

【性別／年代別】

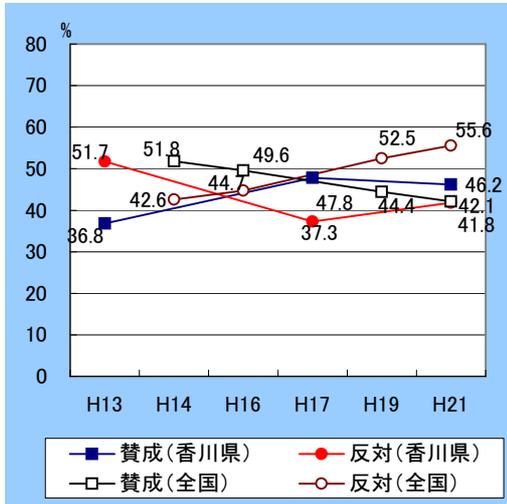
(男性)
(20歳代)



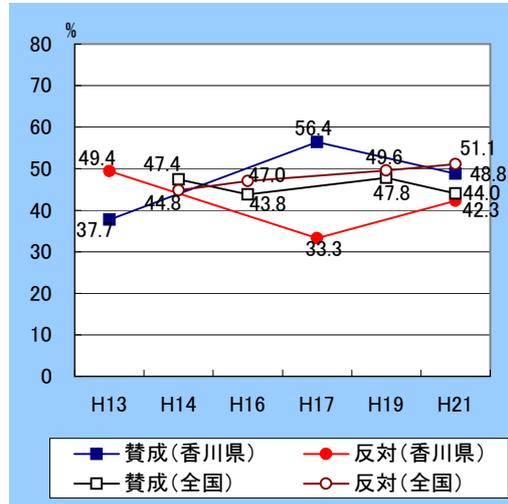
(30歳代)



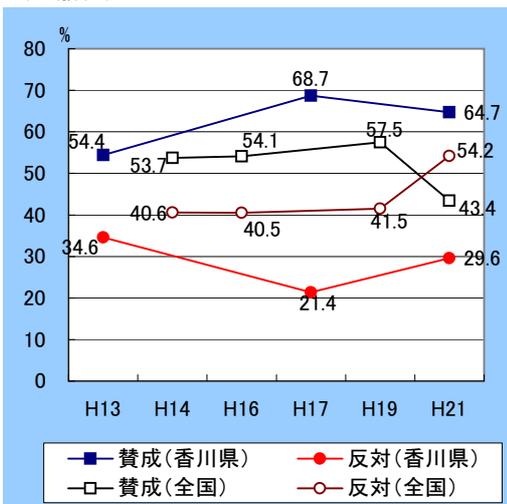
(40歳代)



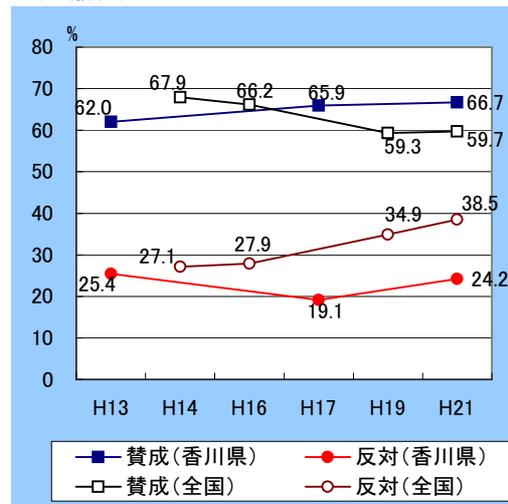
(50歳代)



(60歳代)

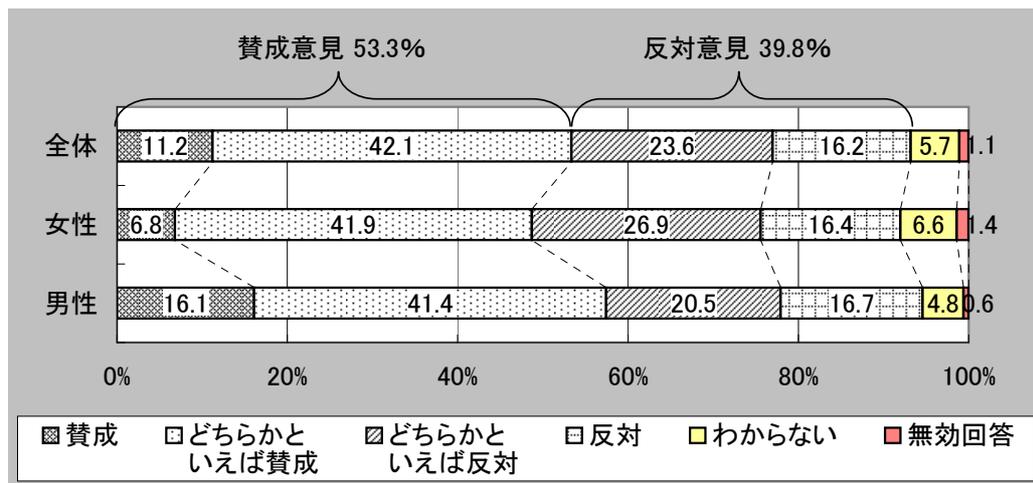


(70歳代)



- ・ 20歳代、30歳代で、賛成意見が増加、反対意見が減少した。
- ・ その他の年代では、平成17年度調査と比べて大きな変動はないが、やや賛成意見の減少、反対意見の増加傾向がある。
- ・ 全ての年代で、全国調査に比べ、賛成意見が多く反対意見が少ない。
特に20歳代、30歳代、60歳代でその差が大きい。

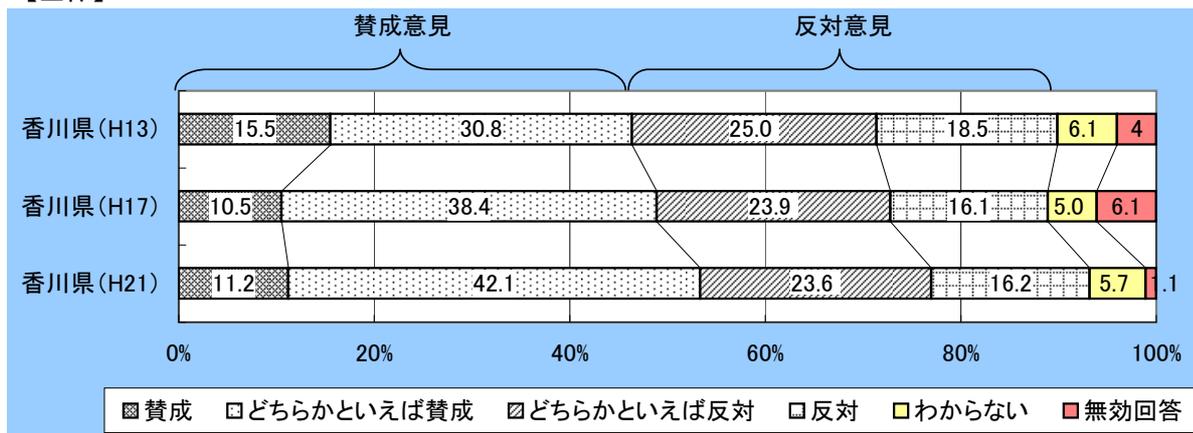
②「女性は結婚したら、自分自身のことより、夫や子どもなど家族を中心に考えて生活したほうがよい」という考え方について (問1-②)



女性で賛成（48.7%）、反対（43.3%）、男性で賛成（57.5%）、反対（37.2%）と、いずれも賛成意見が反対意見を上回った。

〔経年比較〕

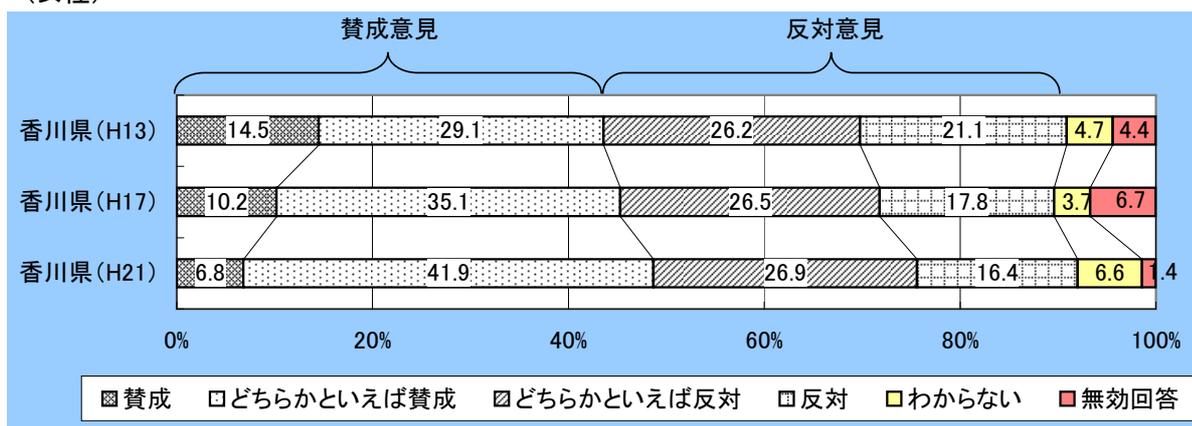
【全体】



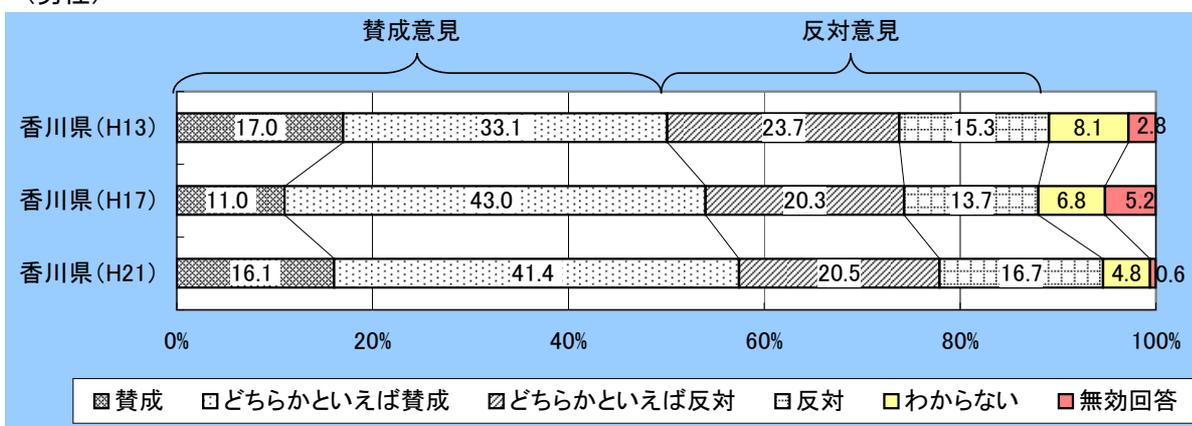
- ・平成17年度調査に続き、賛成意見は増加、反対意見はやや減少した。

【性別】

(女性)



(男性)

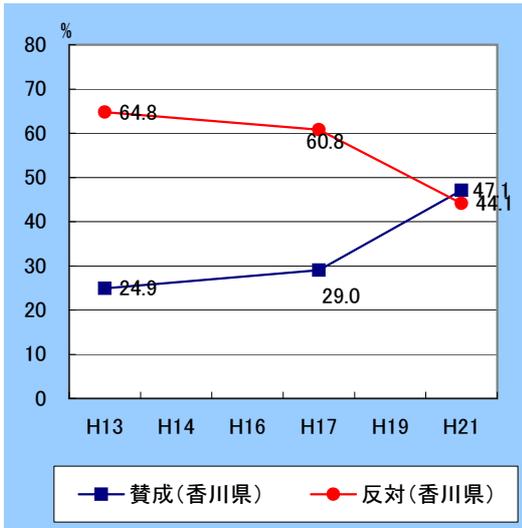


- ・ 男女とも、賛成意見が増加した。
- ・ 女性では、賛成意見のうち「賛成」が減少、「どちらかといえば賛成」が増加した。
- ・ 男性では、「わからない」等が減少し、反対意見も増加した。

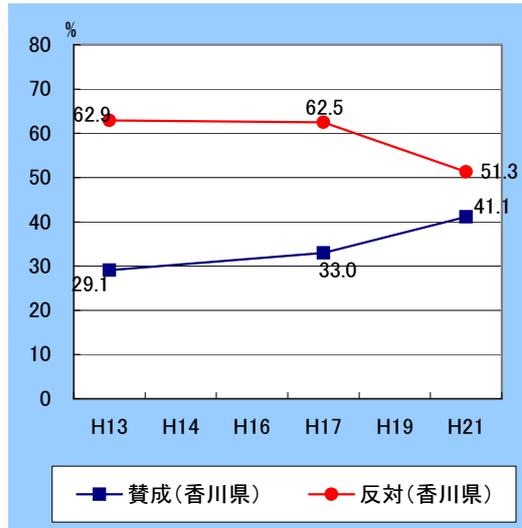
【性別／年代別】

(女性)

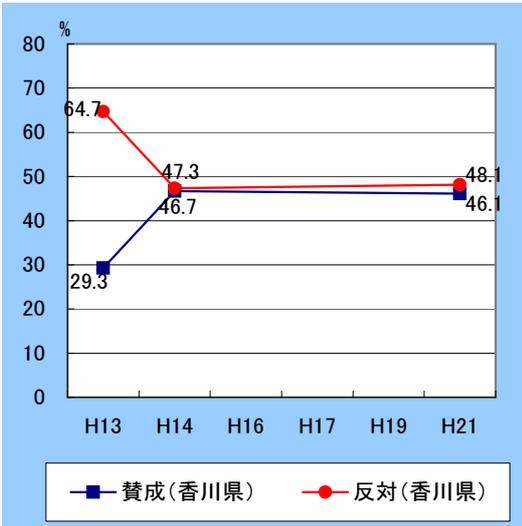
(20歳代)



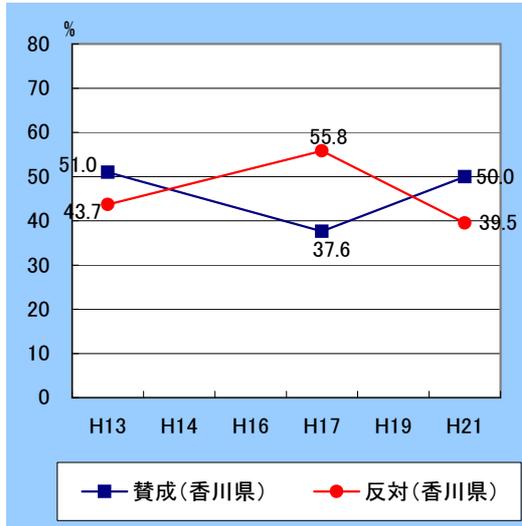
(30歳代)



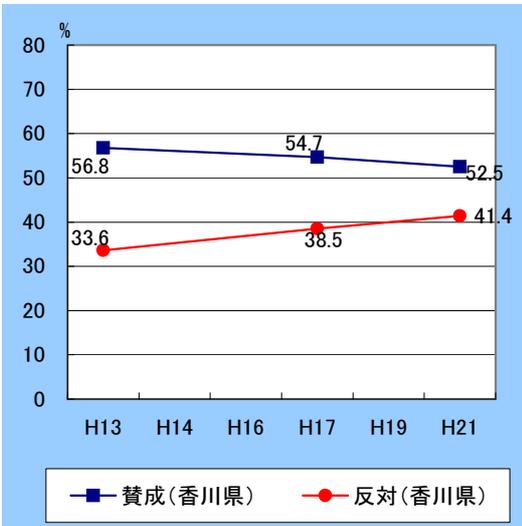
(40歳代)



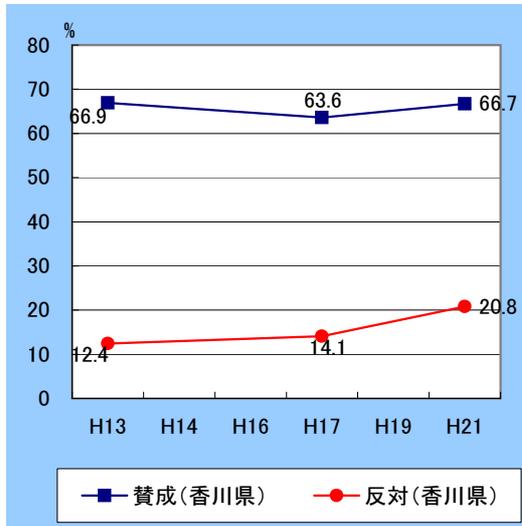
(50歳代)



(60歳代)



(70歳代)

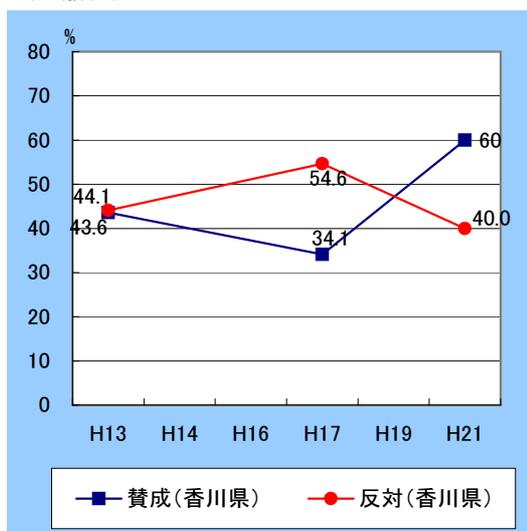


・ 20歳代、30歳代、50歳代で、賛成意見が増加、反対意見が減少した。

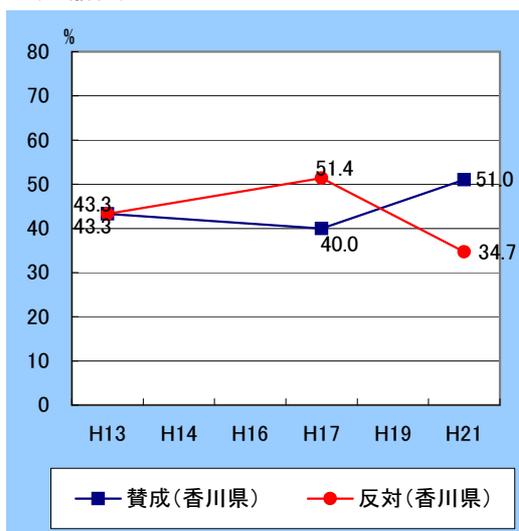
【性別／年代別】

(男性)

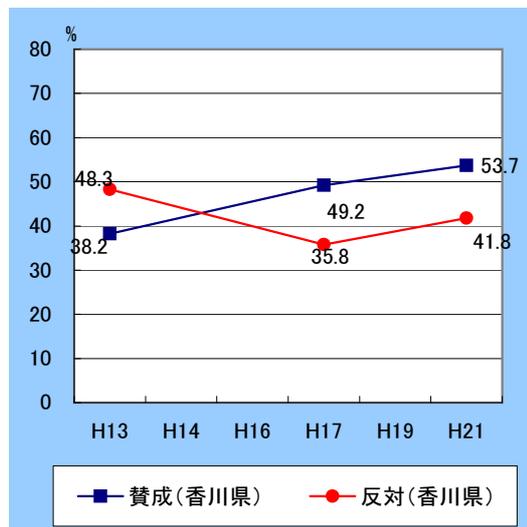
(20歳代)



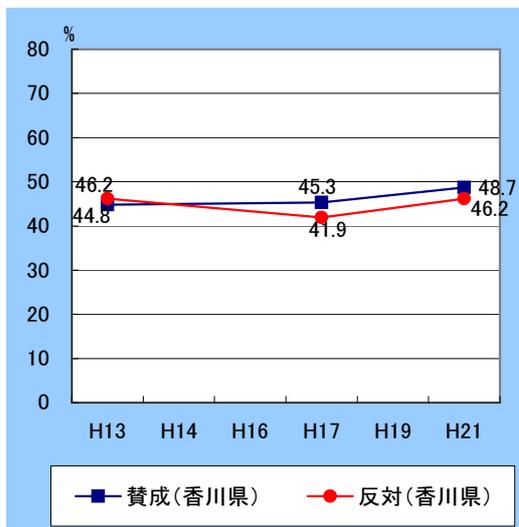
(30歳代)



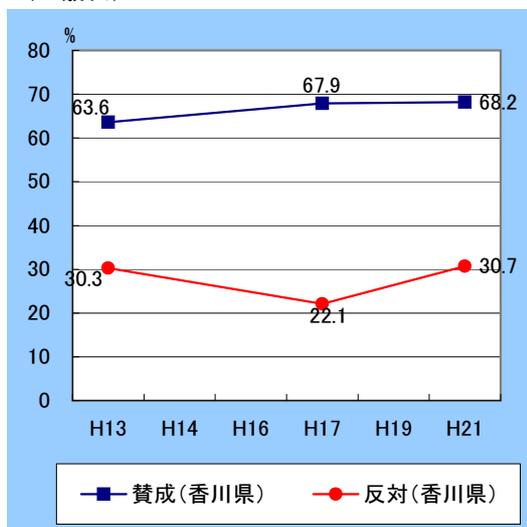
(40歳代)



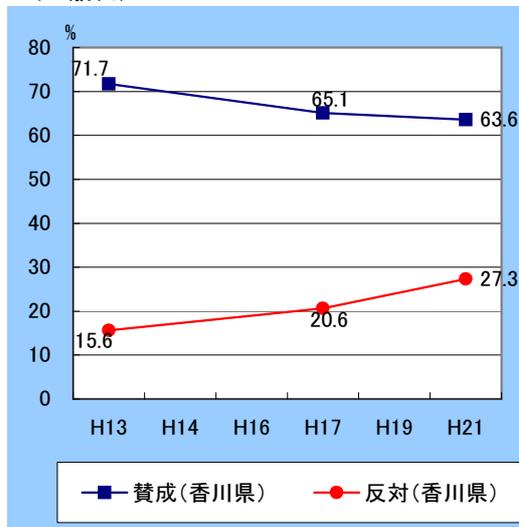
(50歳代)



(60歳代)



(70歳代)

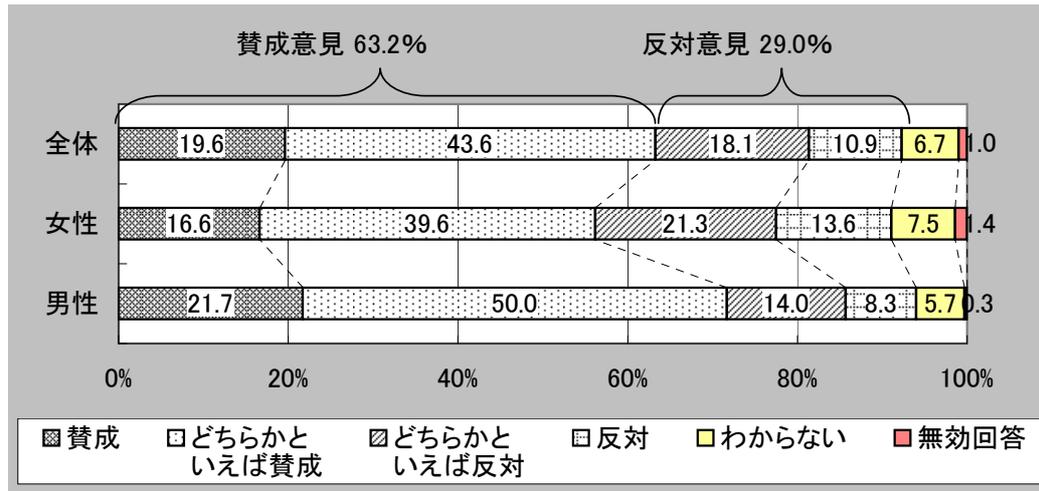


・ 20歳代、30歳代で、賛成意見が増加、反対意見が減少した。

③ 「女性は仕事を持つのはよいが、家事・育児・介護はきちんとすべきである」

という考え方について

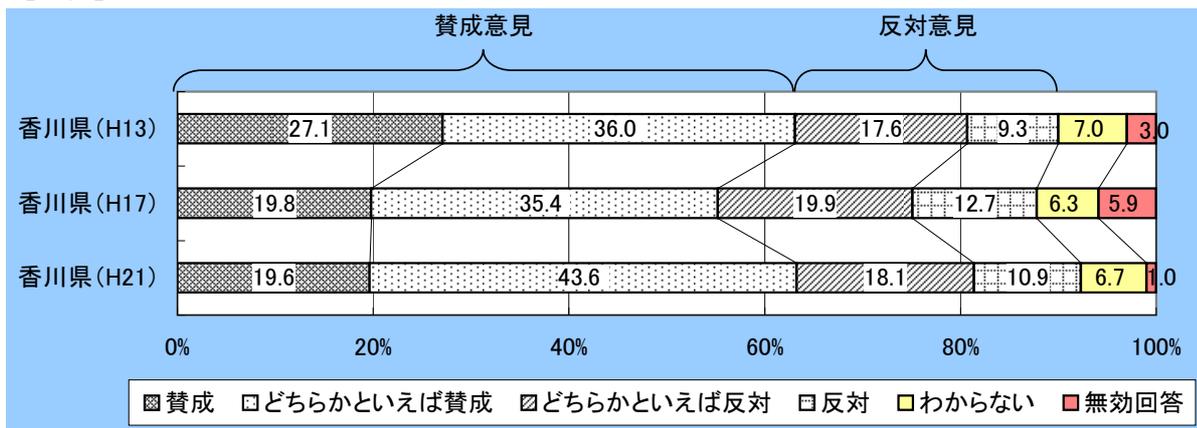
(問1-③)



女性で賛成（56.2%）、反対（34.9%）、男性で賛成（71.7%）、反対（22.3%）と、いずれも賛成意見が反対意見を上回った。

〔経年比較〕

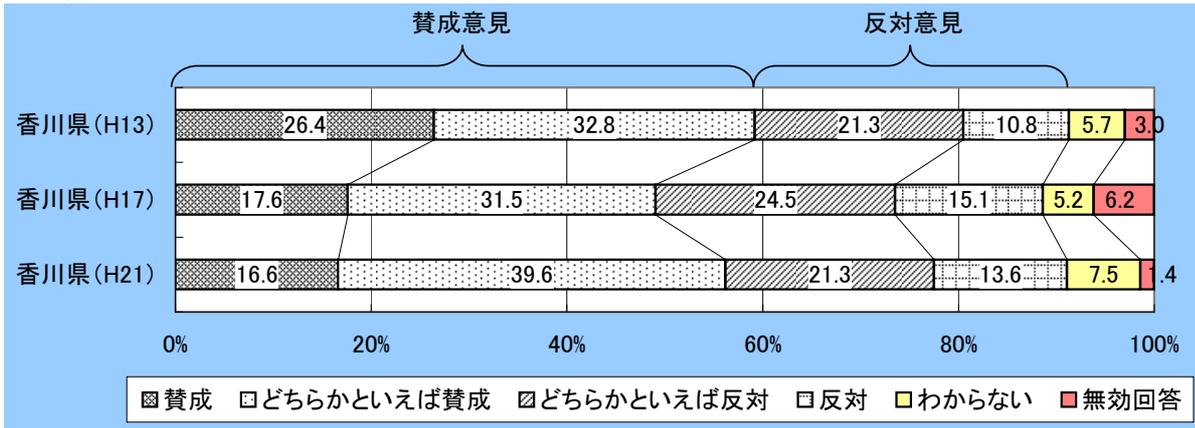
【全体】



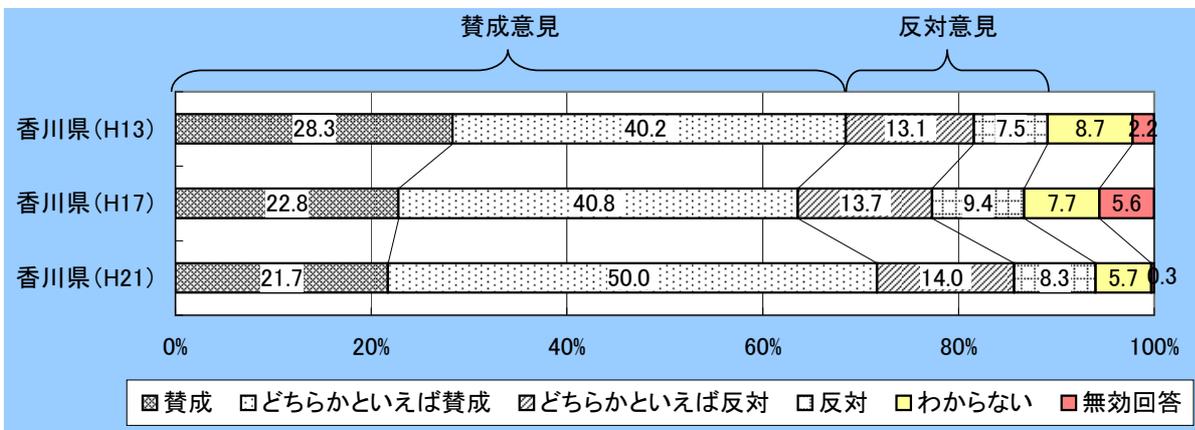
- ・平成17年度調査では賛成意見が減少、反対意見が増加したが、今回は賛成意見が増加、反対意見が減少した。

【性別】

(女性)



(男性)

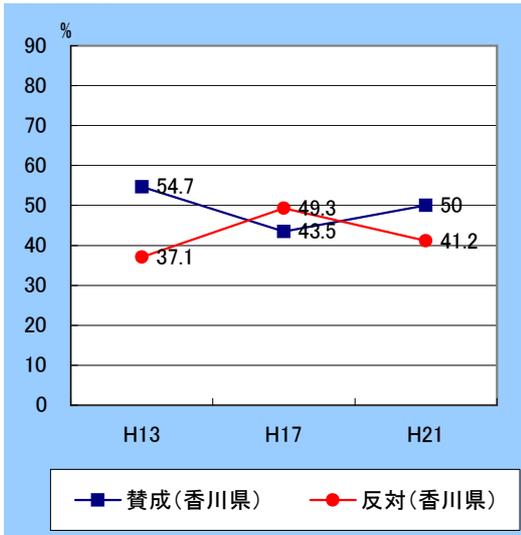


- 男女とも、平成17年度調査では賛成意見が減少、反対意見が増加したが、今回は賛成意見が増加、反対意見が減少した。

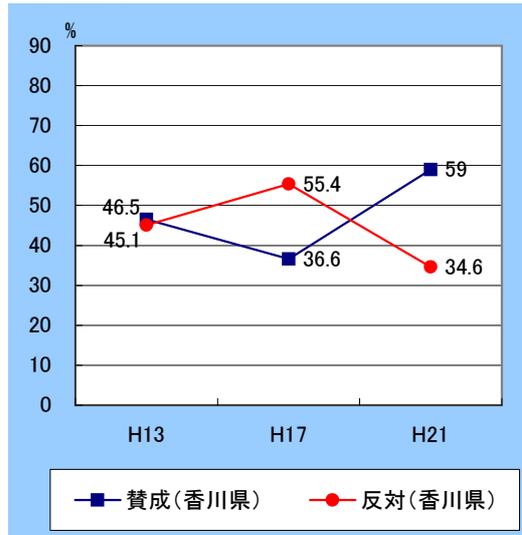
【性別／年代別】

(女性)

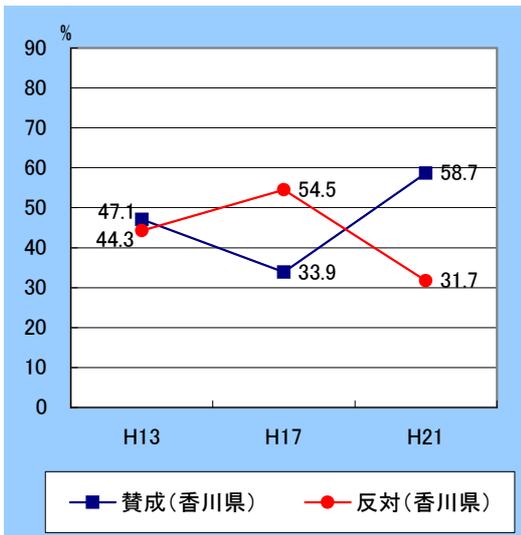
(20歳代)



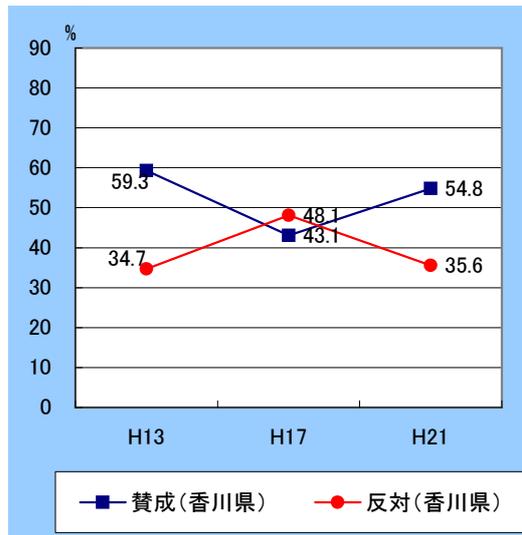
(30歳代)



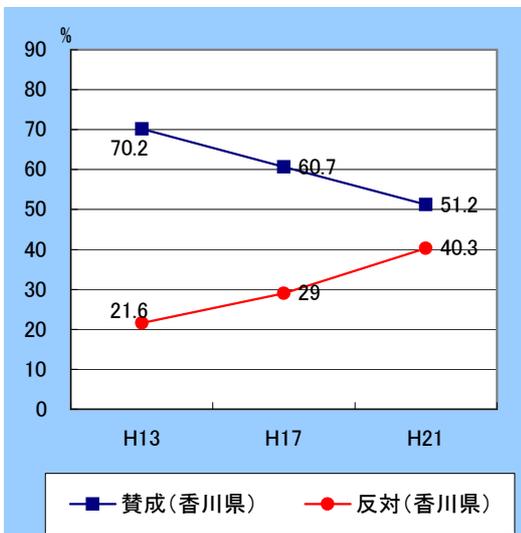
(40歳代)



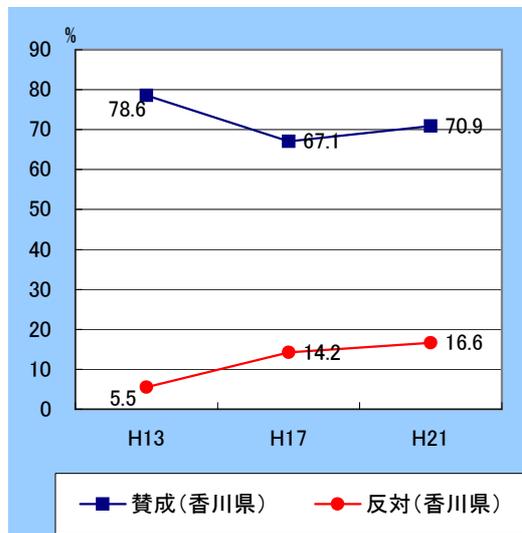
(50歳代)



(60歳代)



(70歳代)

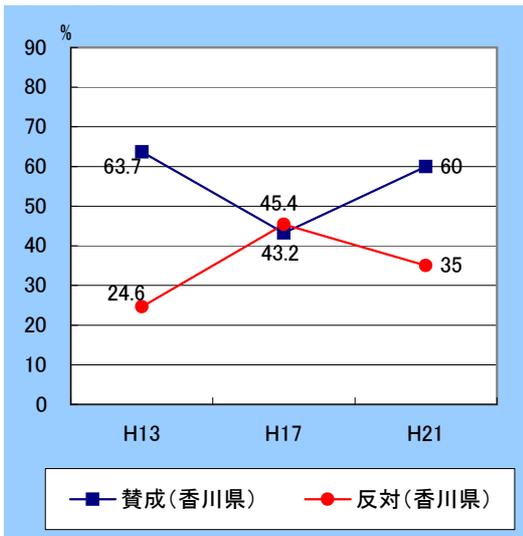


・ 20歳代～50歳代で、賛成意見が増加し、反対意見が減少した。

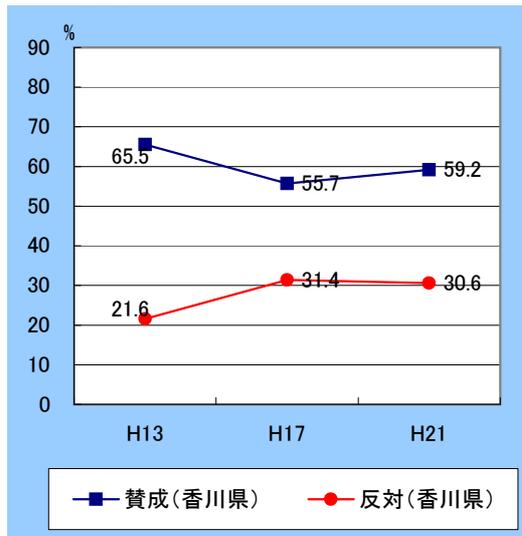
【性別／年代別】

(男性)

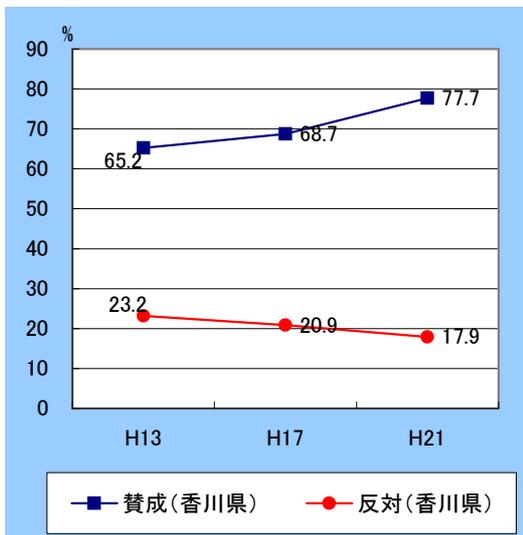
(20歳代)



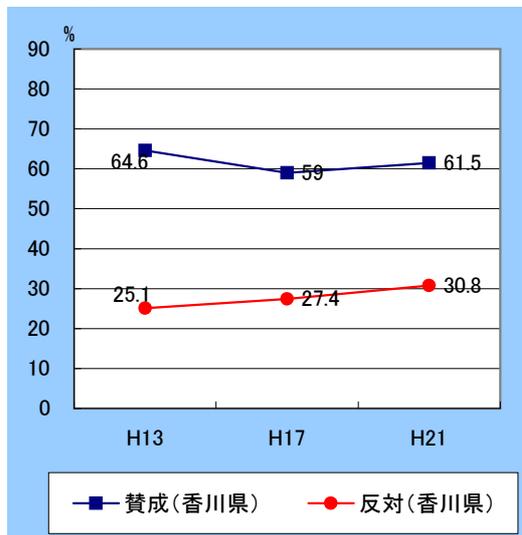
(30歳代)



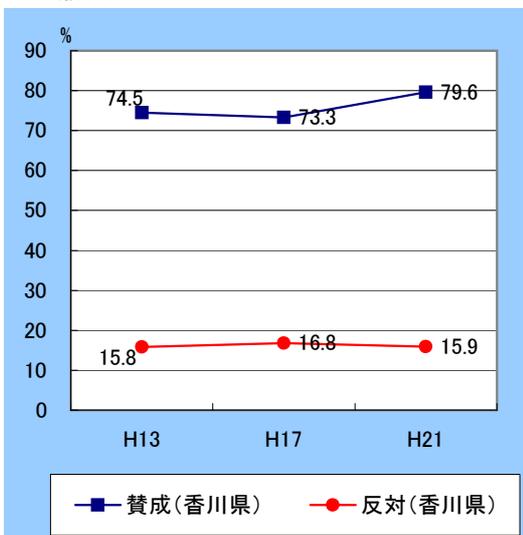
(40歳代)



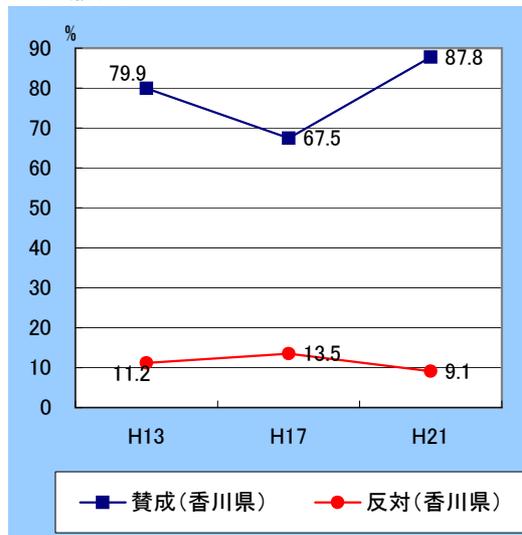
(50歳代)



(60歳代)



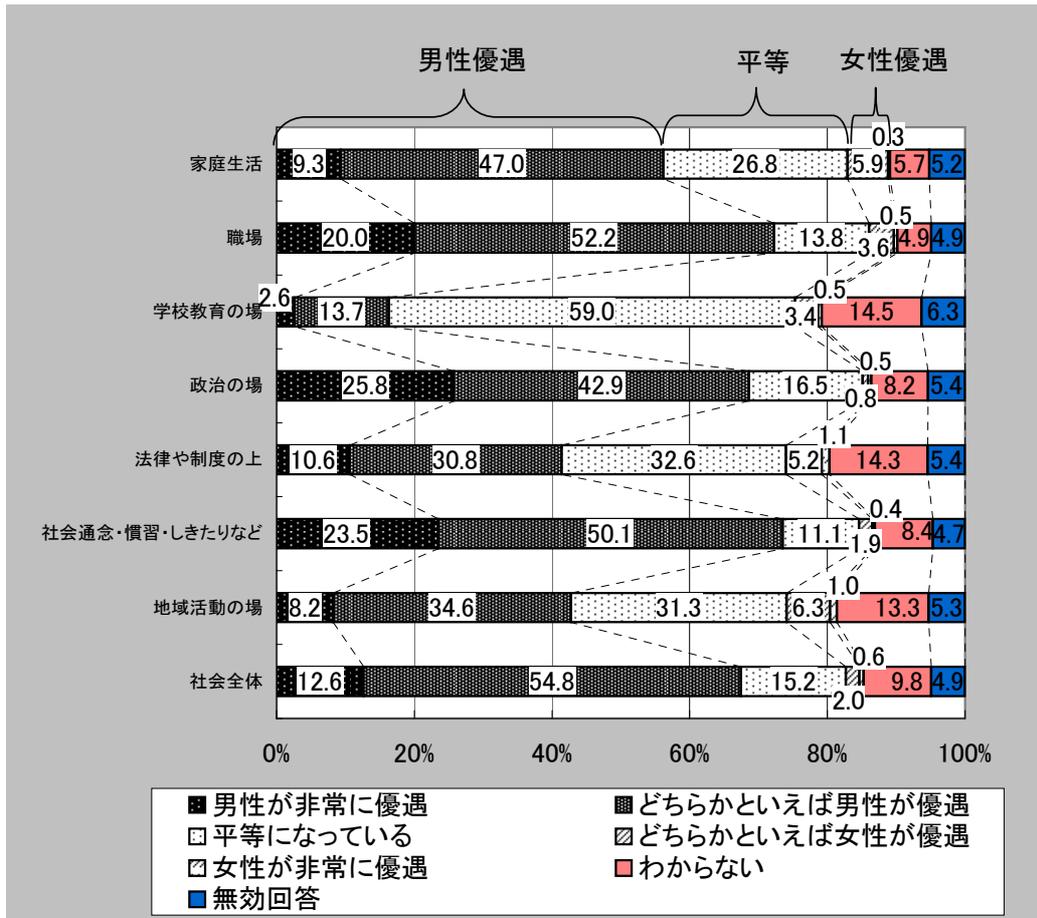
(70歳代)



- ・ 50歳代で賛成意見、反対意見とも増加したのを除くと、各年代で、賛成意見が増加、反対意見が減少した。

2 各分野の男女の地位の平等感

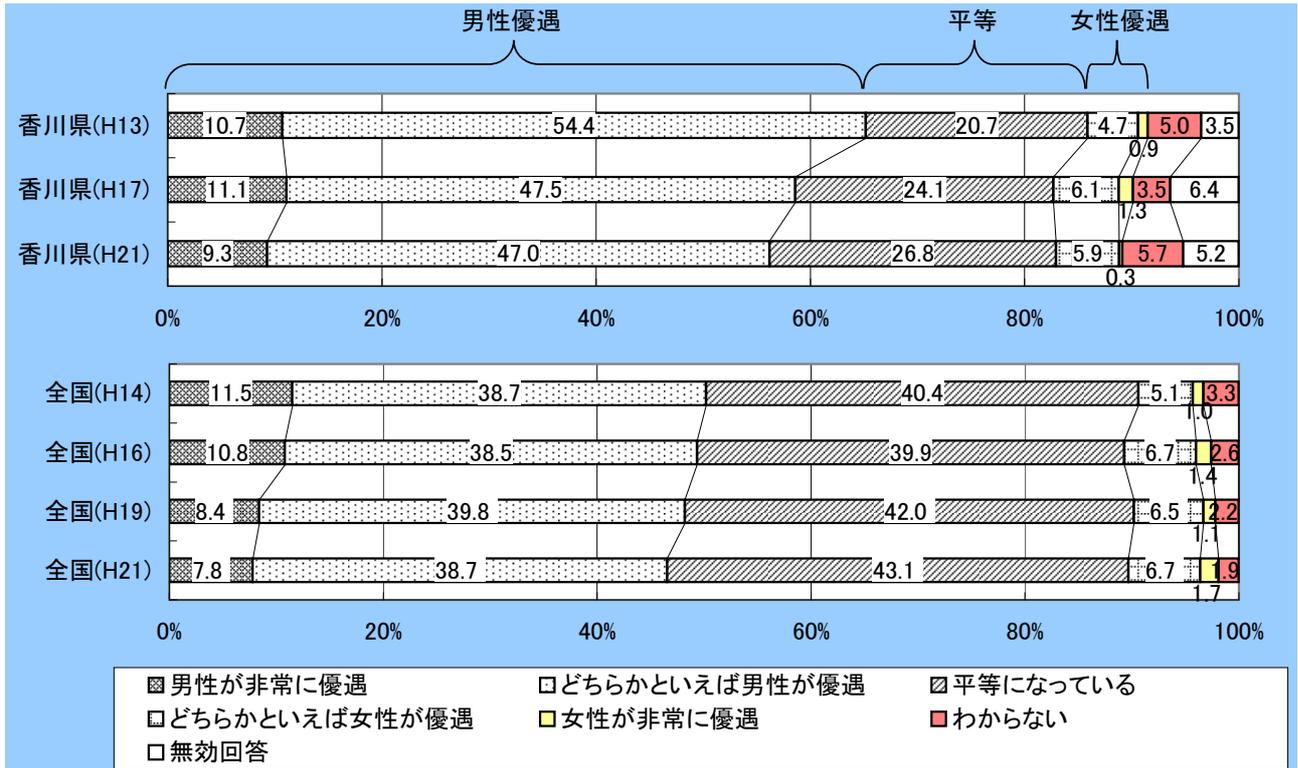
(問5)



「学校教育の場」で「平等になっている」が最も多くなったのを除くと、各分野で男性優遇になっているとの回答が多くなっている。

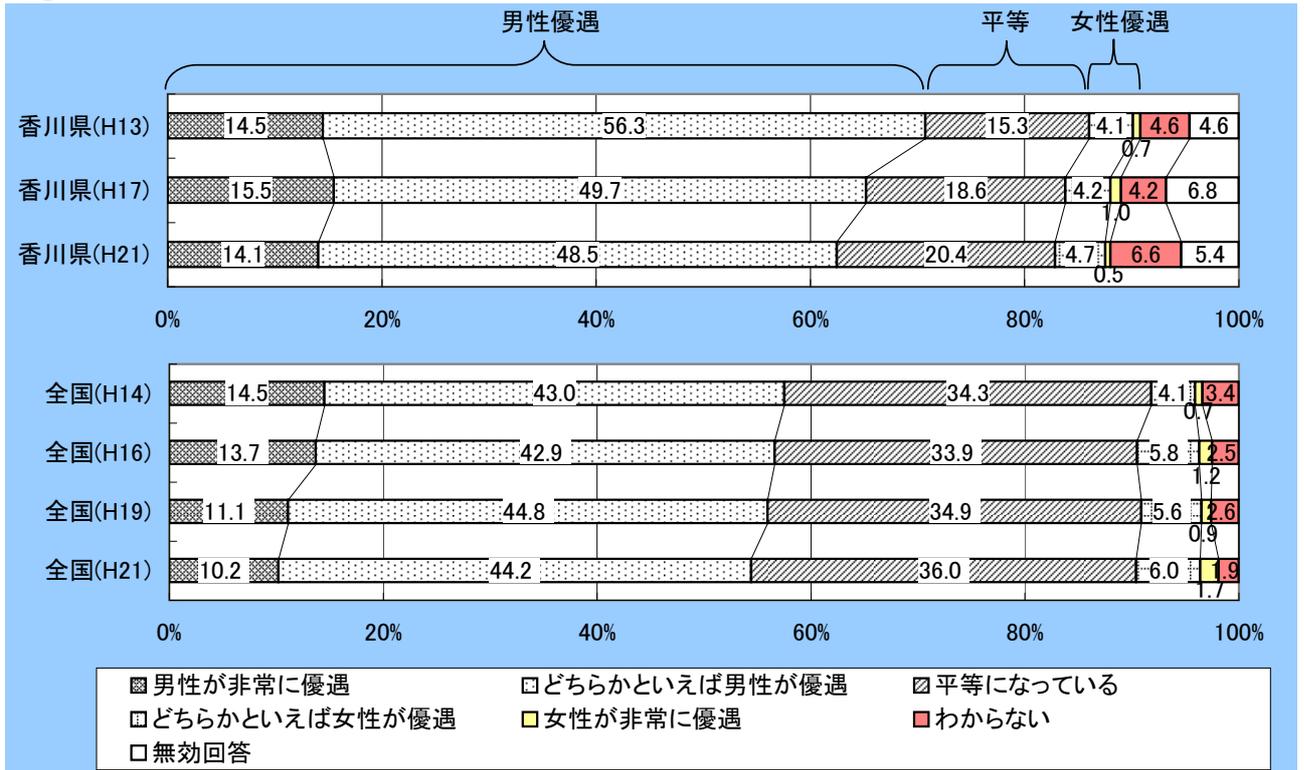
①家庭生活

【全体】

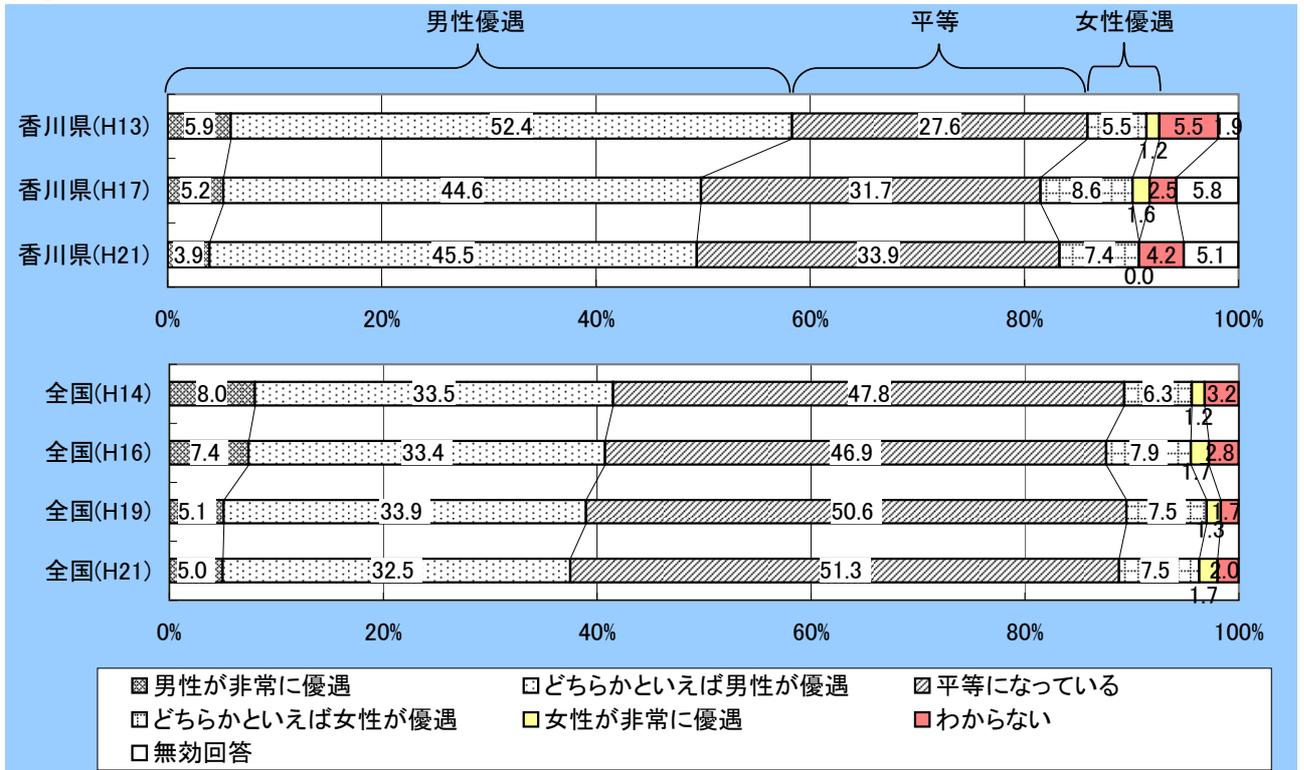


①家庭生活

【女性】



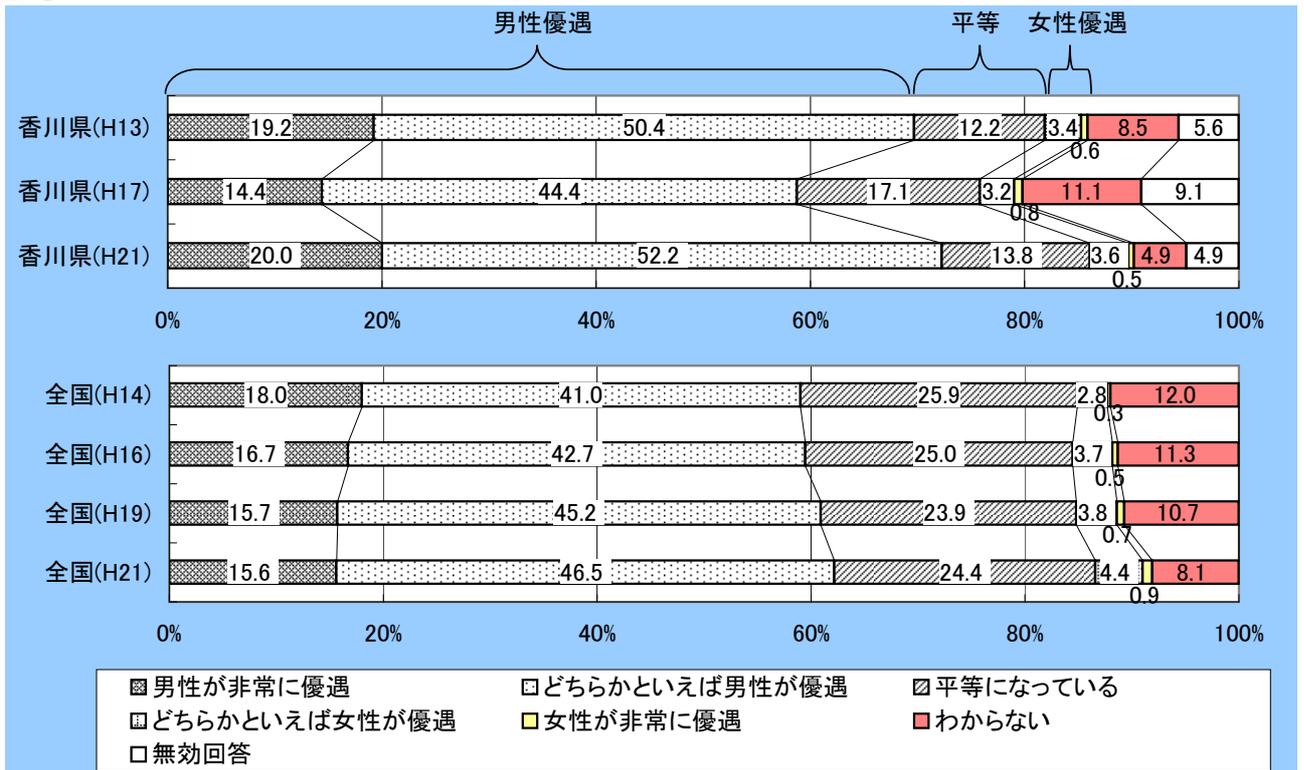
【男性】



- ・ 男女とも、「男性優遇」が減少傾向、「平等」が増加傾向にある。
- ・ 全国調査と比較すると、「男性優遇」が多く、「平等」が少ない。

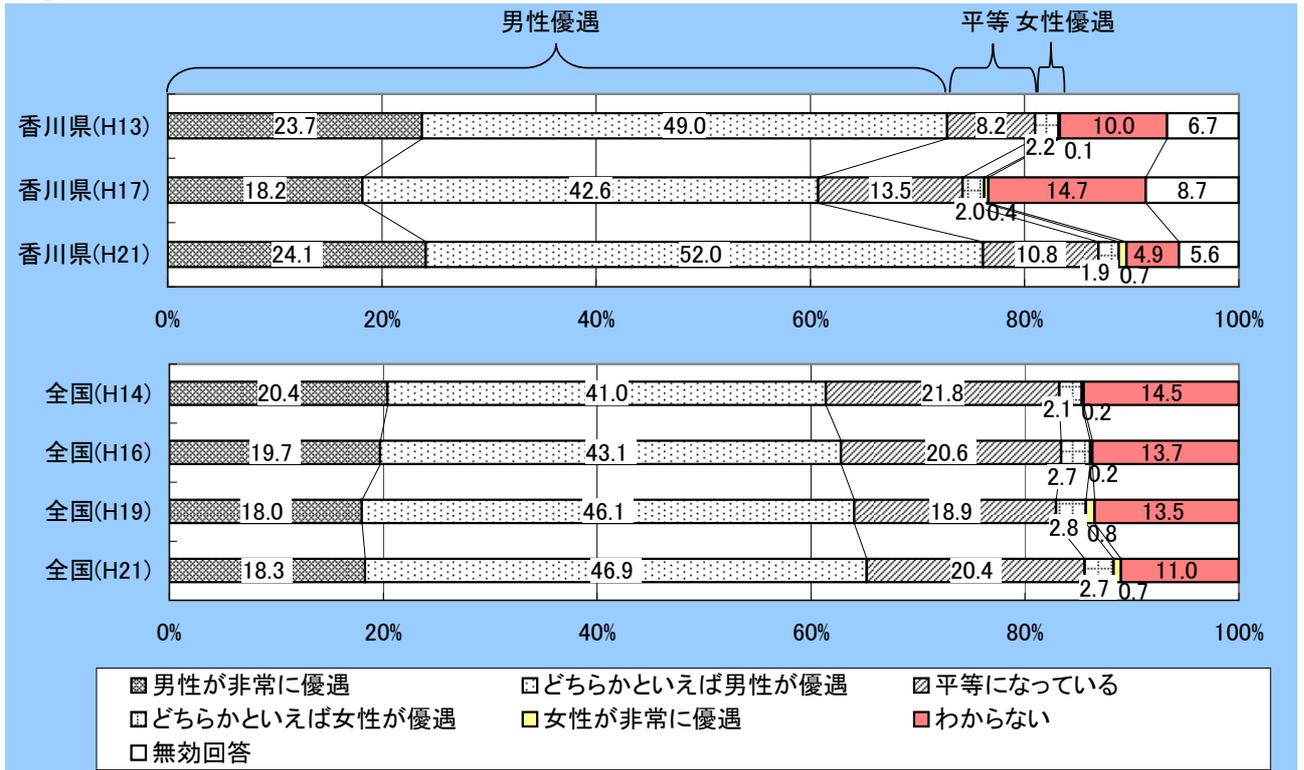
②職場

【全体】

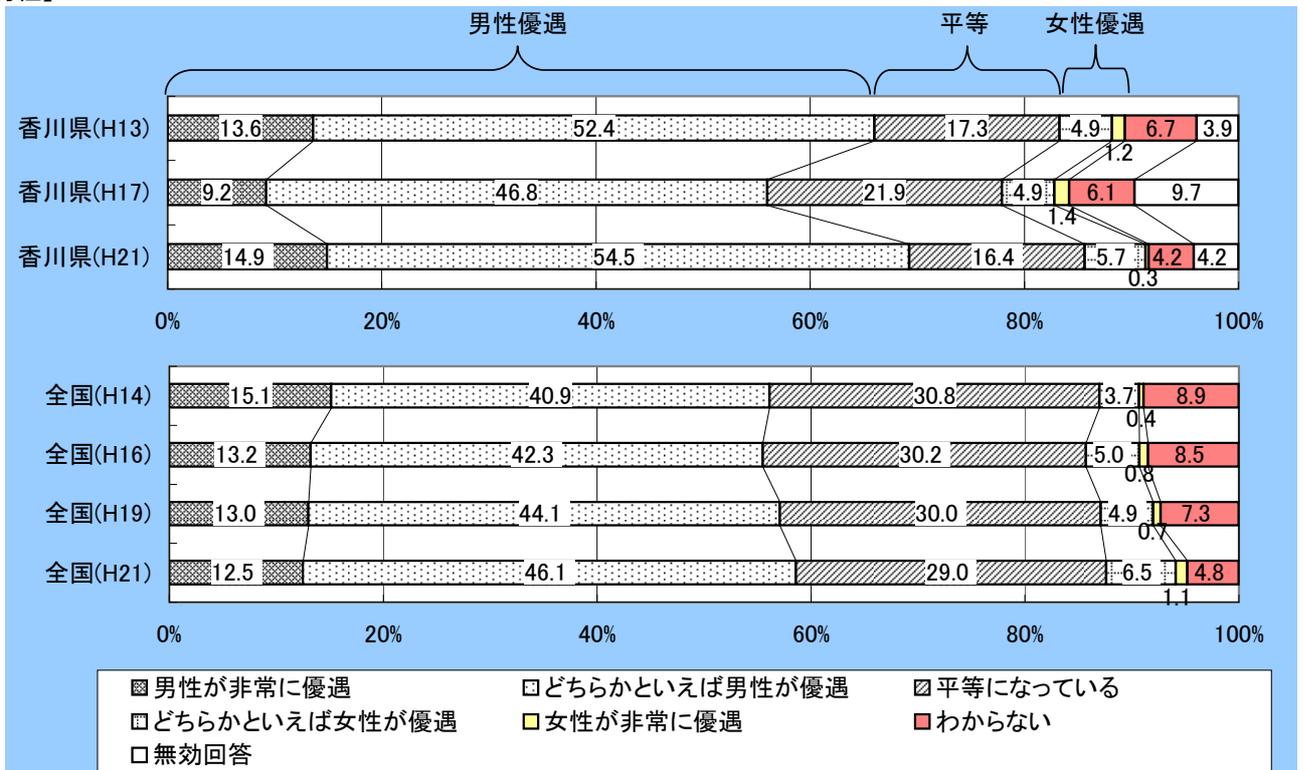


②職場

【女性】



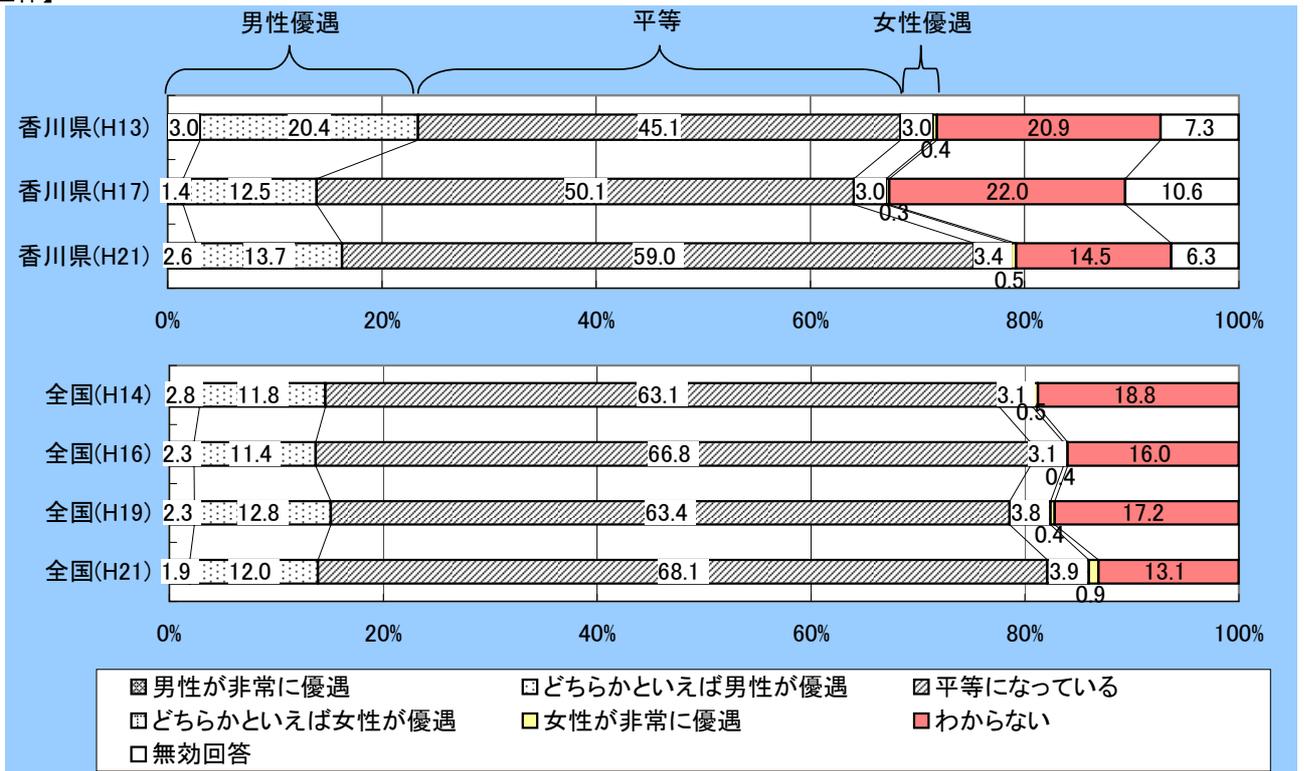
【男性】



- ・ 男女とも、「男性優遇」が増加、「平等」が減少した。
- ・ 全国調査と比較すると、「男性優遇」が多く、「平等」が少ない。

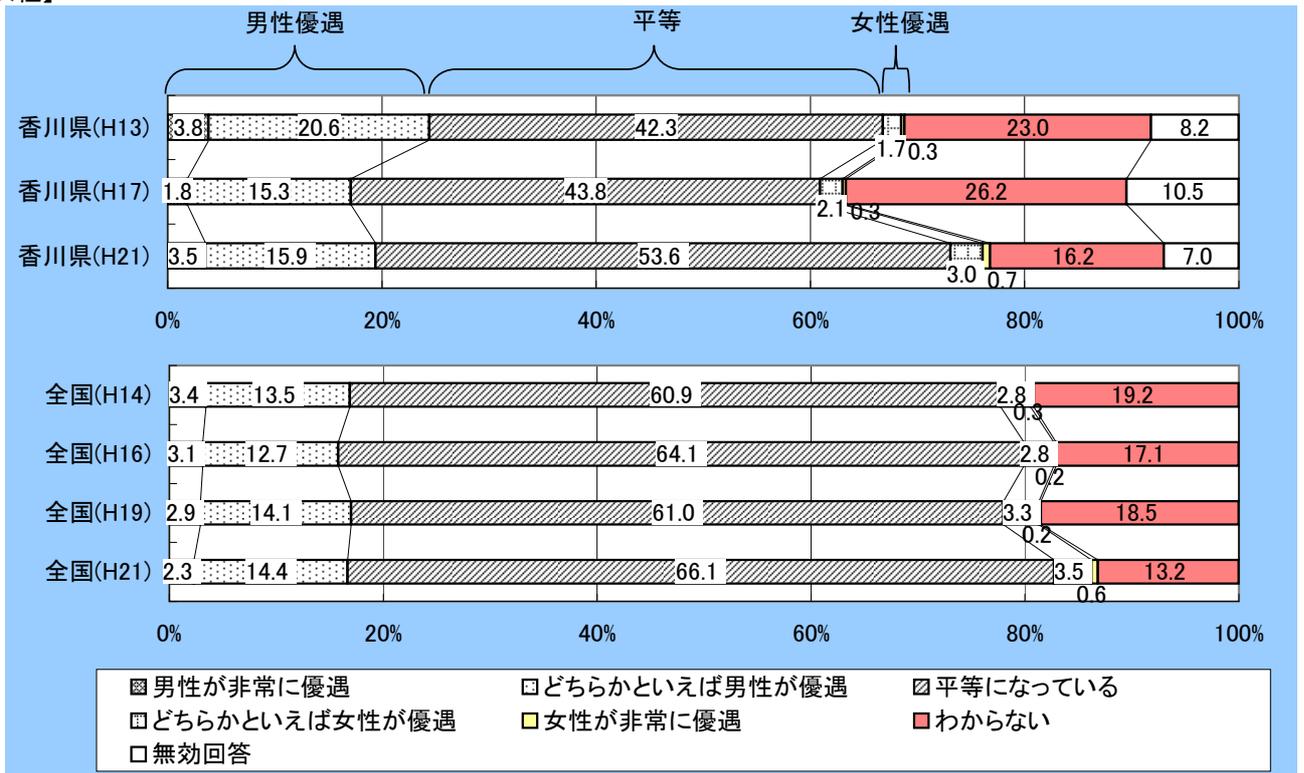
③学校教育の場

【全体】

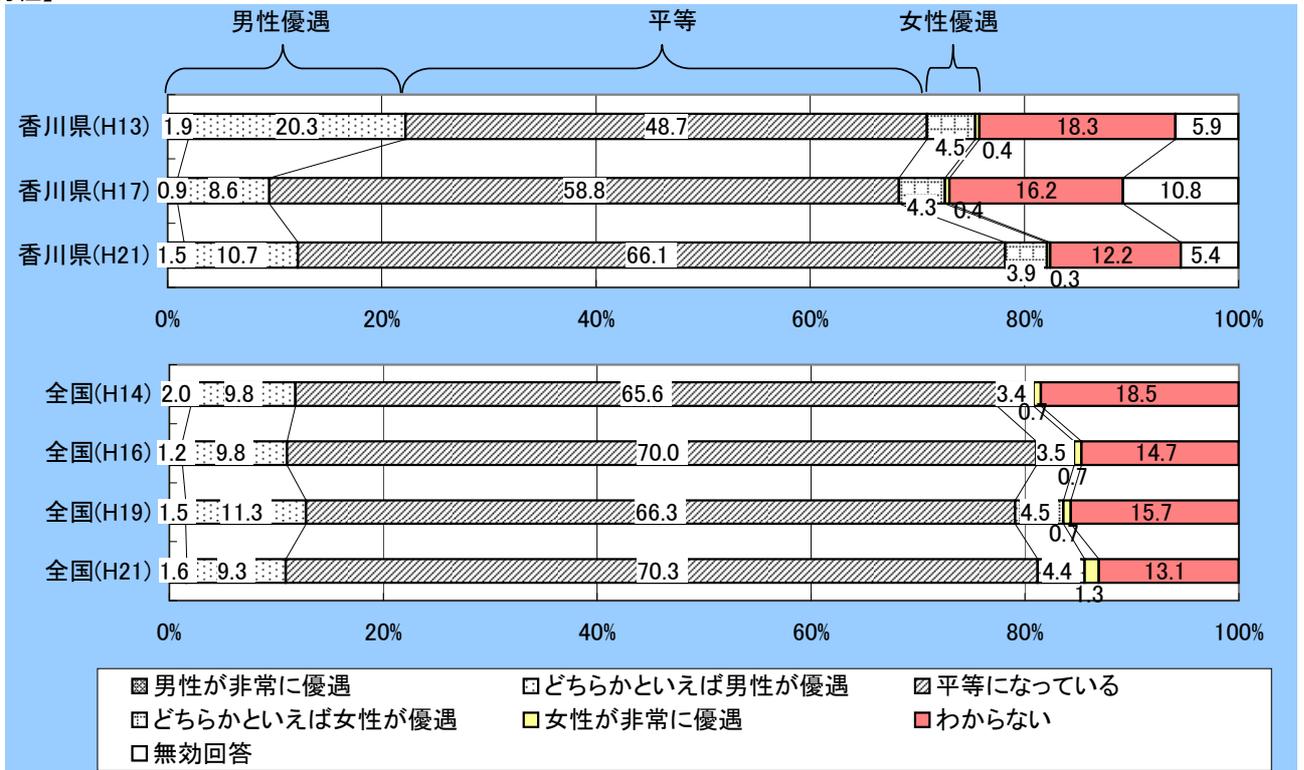


③学校教育の場

【女性】



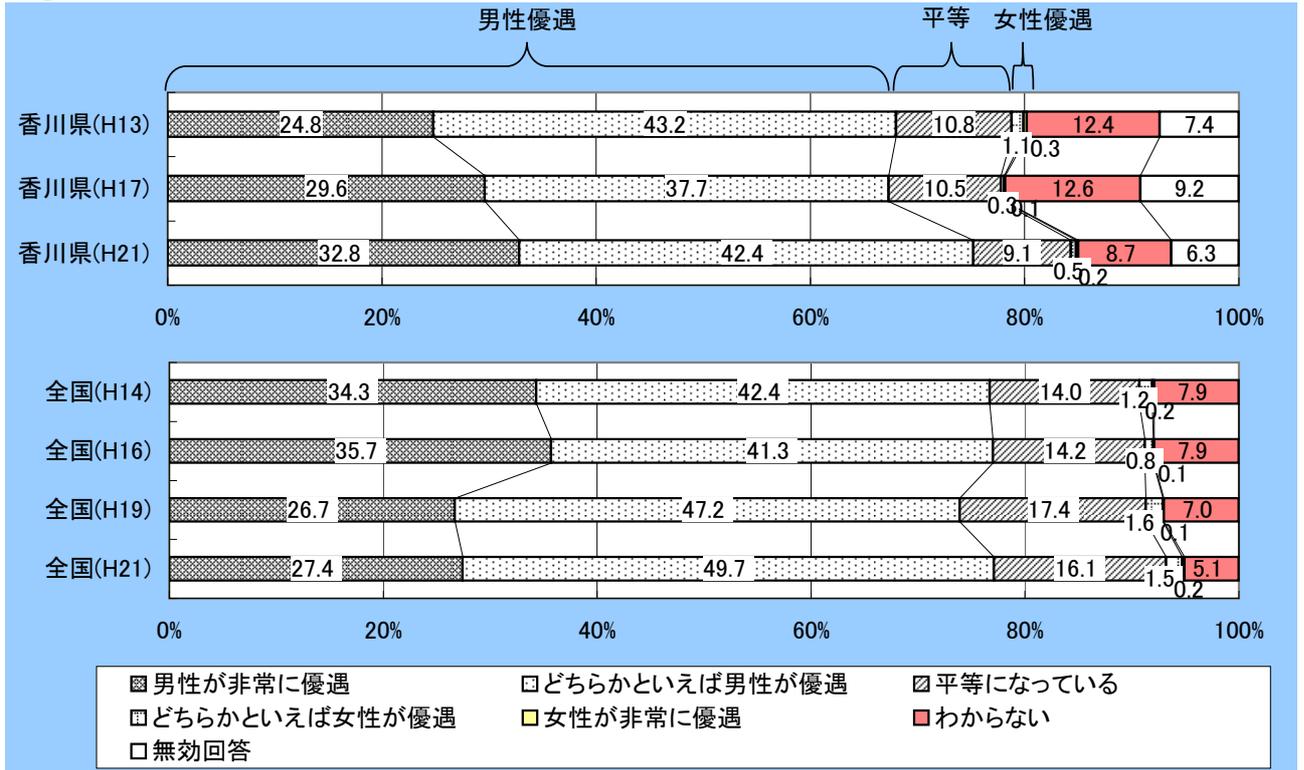
【男性】



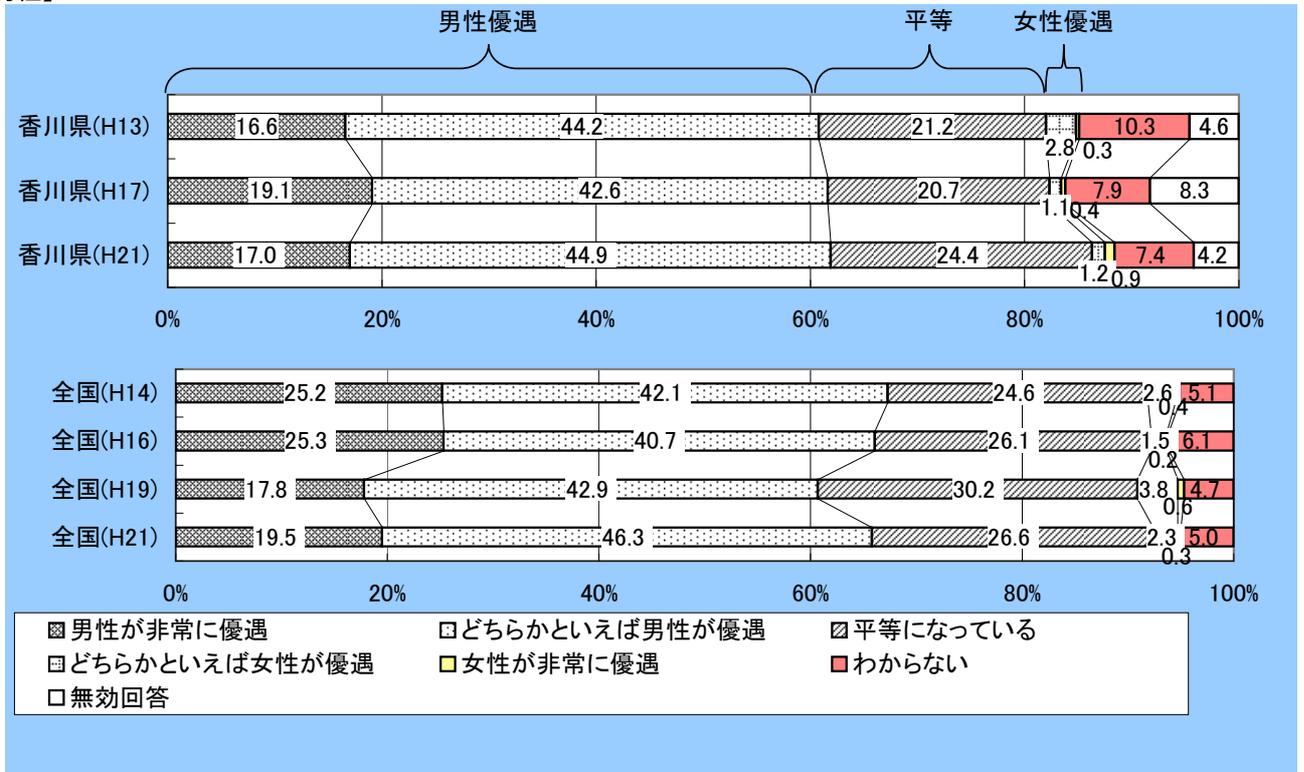
- ・男女とも、「平等」が増加、「男性優遇」もやや増加した。
- ・全国調査と比較すると、「平等」は少ない。

④政治の場

【女性】



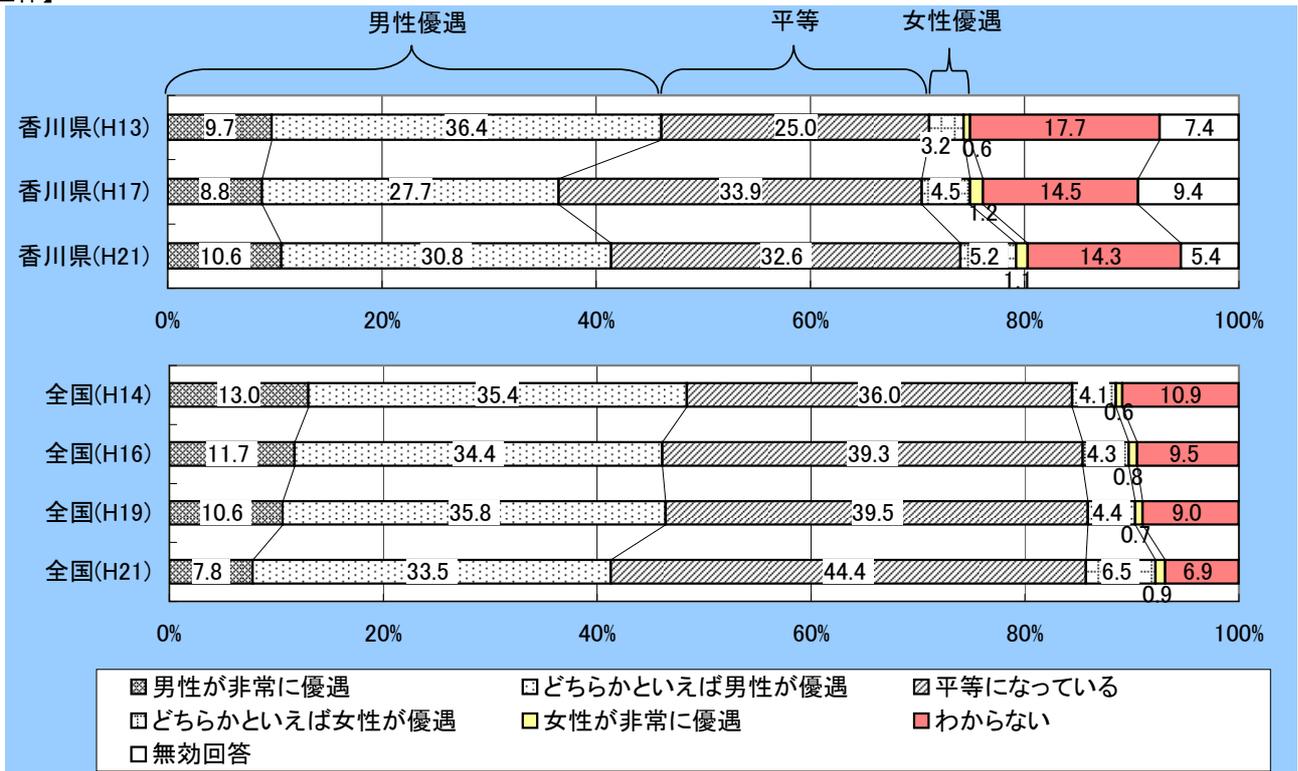
【男性】



- ・ 全体では、「男性優遇」「平等」がやや増加した。
- ・ 女性で「男性優遇」が増加、「平等」減少、男性で「男性優遇」がやや増加、「平等」が増加した。
- ・ 全国調査と比較すると、ほぼ同じ程度の割合となっている。

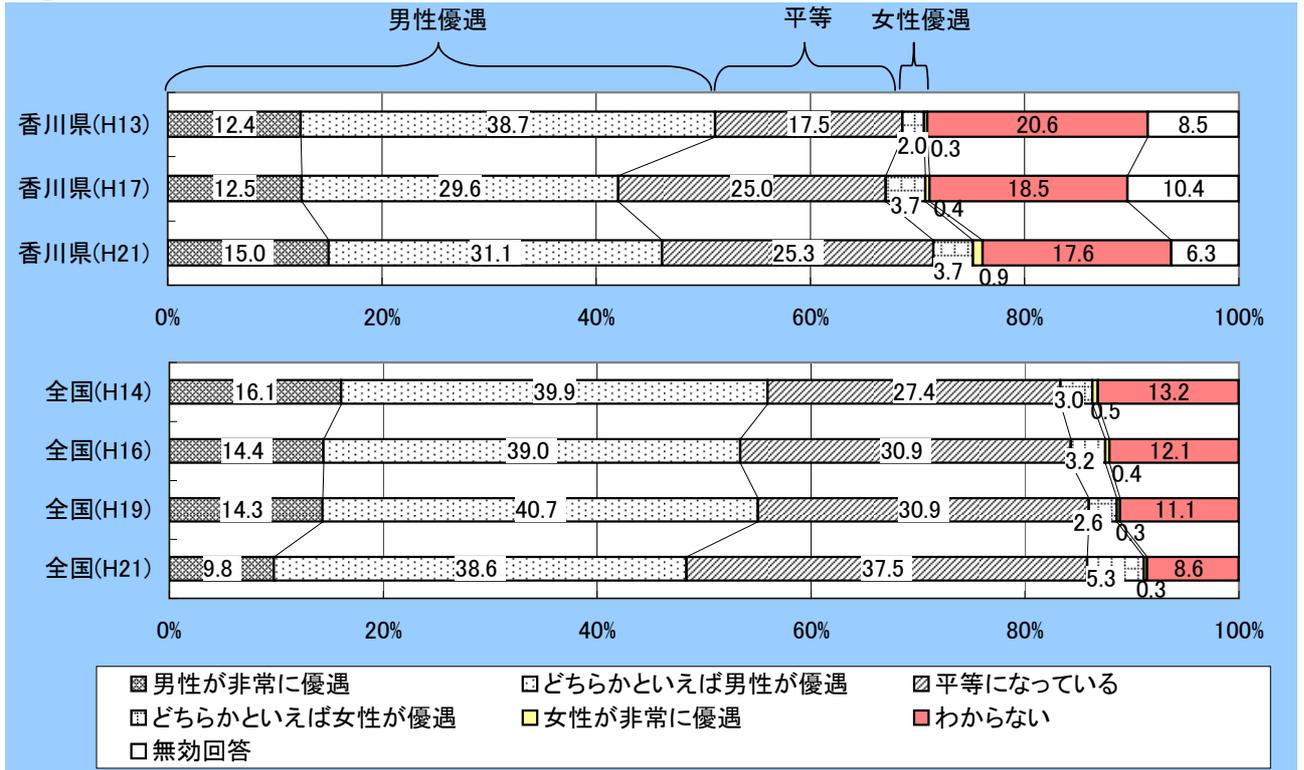
⑤法律や制度の上

【全体】

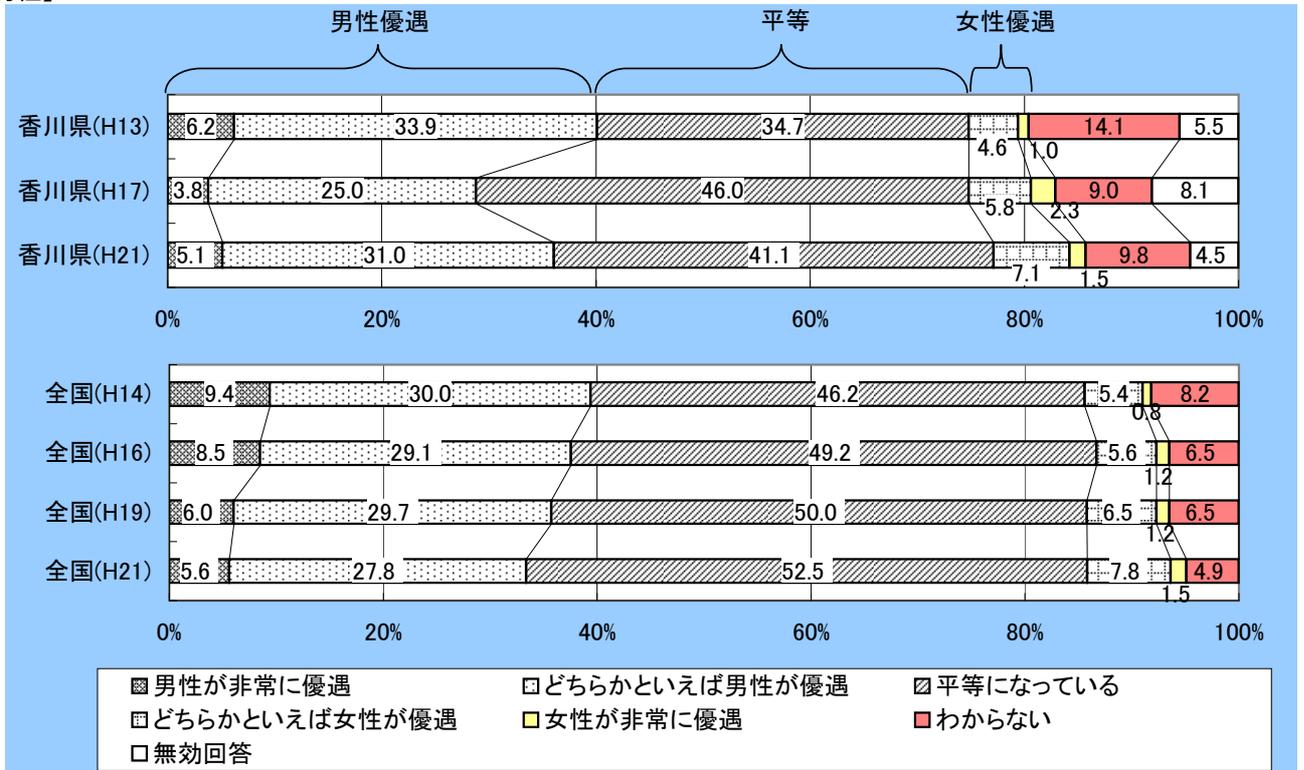


⑤法律や制度の上

【女性】



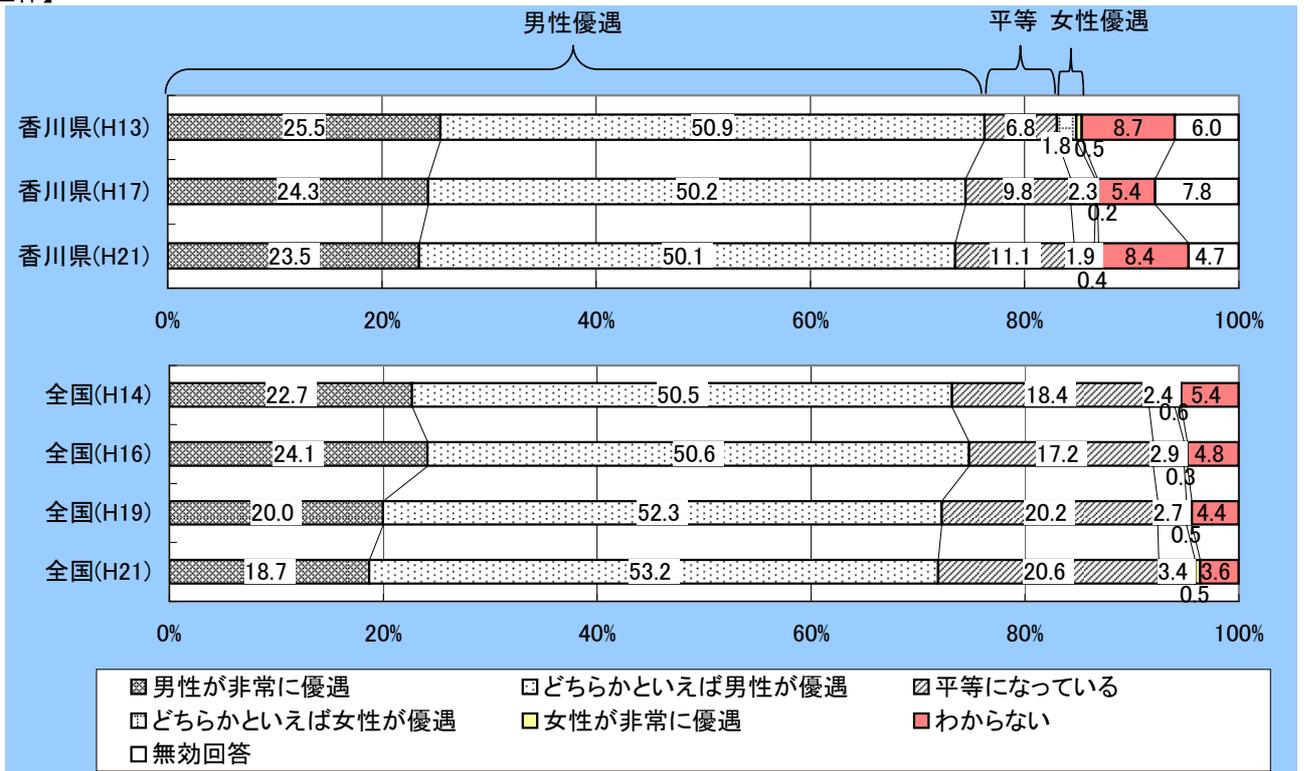
【男性】



- ・ 全体では、17年度調査で減少した「男性優遇」が今回は増加し、「平等」がやや減少した。
- ・ 女性で「男性優遇」が増加、「平等」がやや増加、男性で「男性優遇」が増加、「平等」が減少した。
- ・ 全国調査と比較すると、「平等」が少ない。

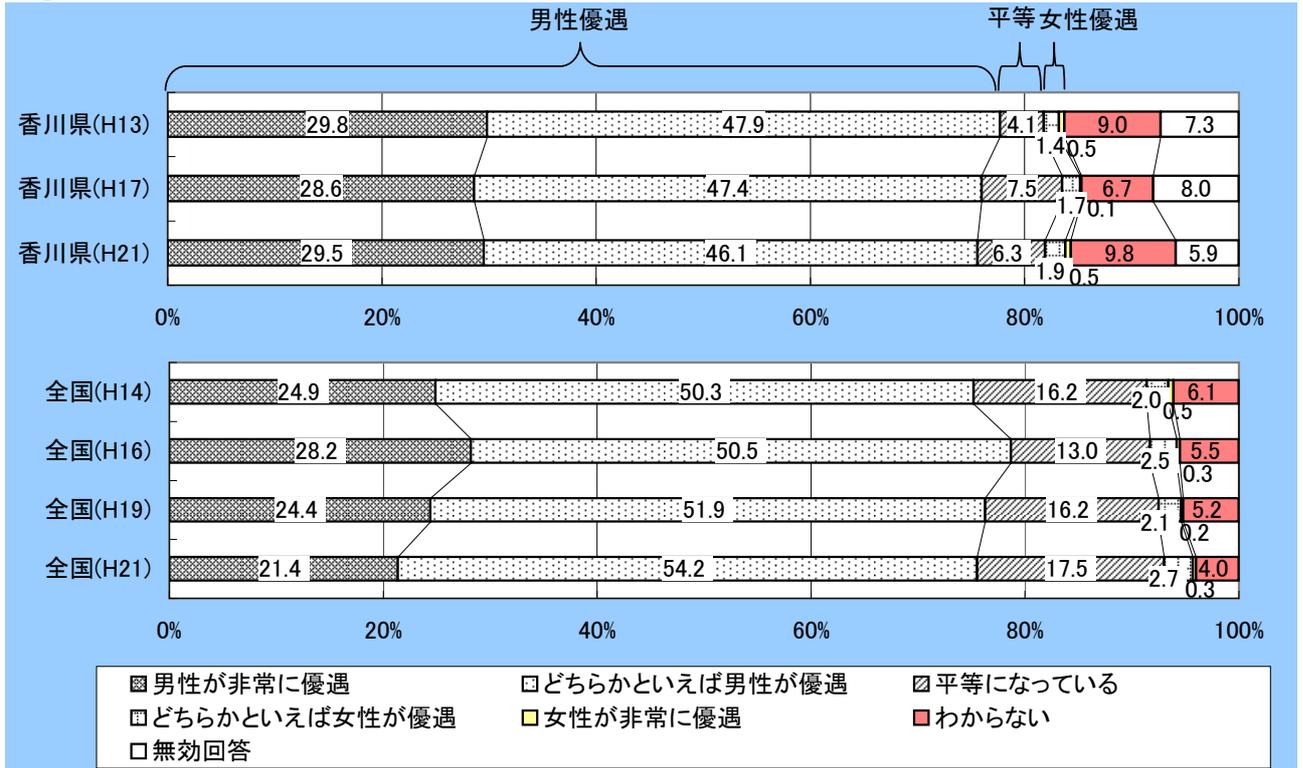
⑥社会通念・慣習・しきたりなど

【全体】

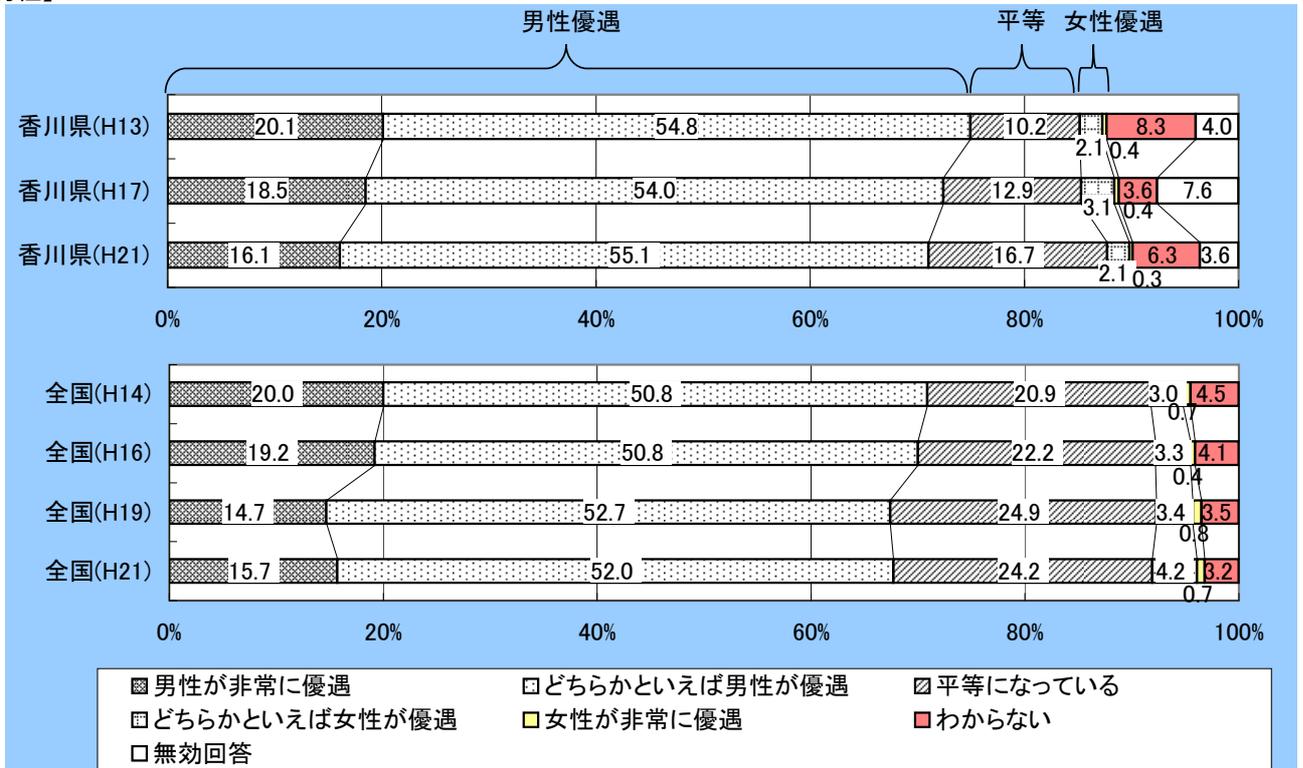


⑥社会通念・慣習・しきたりなど

【女性】



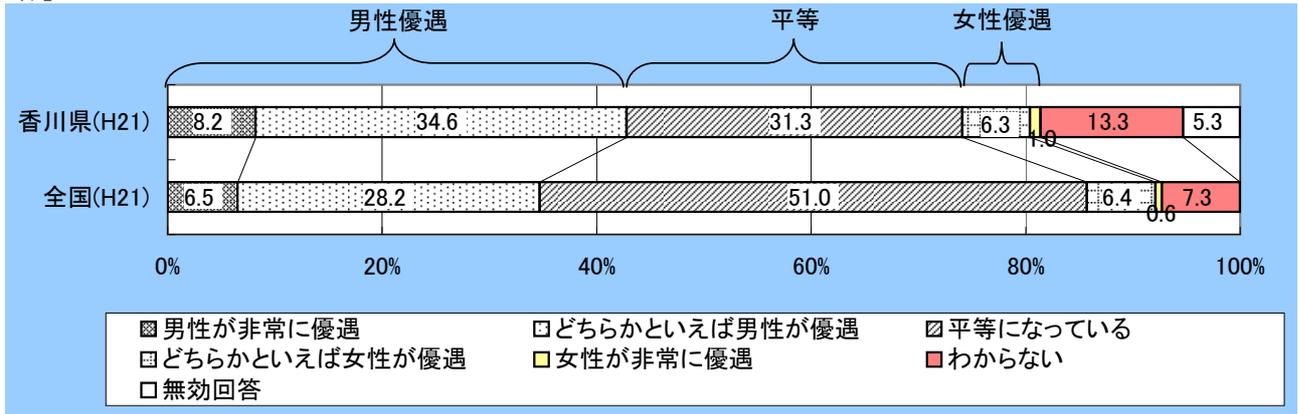
【男性】



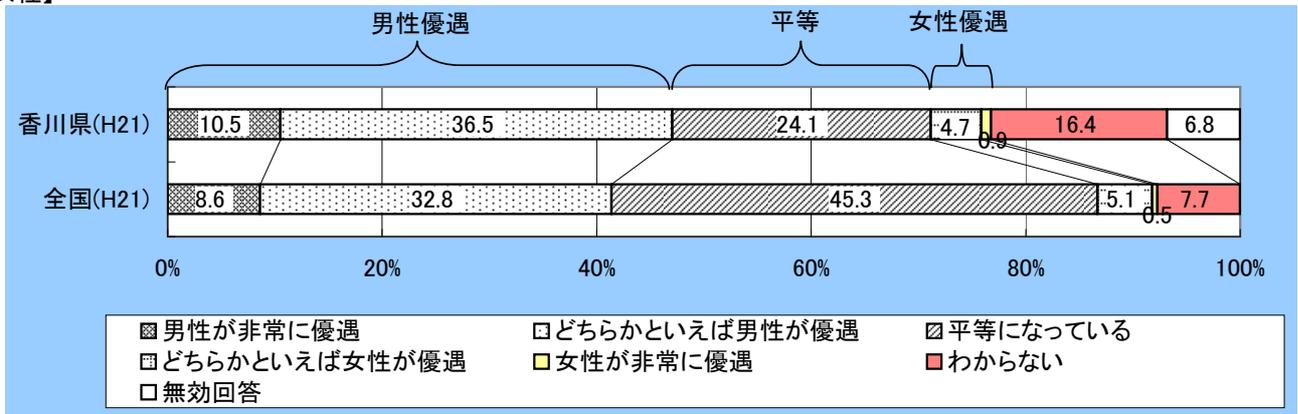
- ・男女とも、「男性優遇」はやや減少傾向にある。
- ・「平等」は女性ではやや減少、男性では増加した。
- ・全国調査と比較すると、「平等」が少ない。

⑦地域活動の場

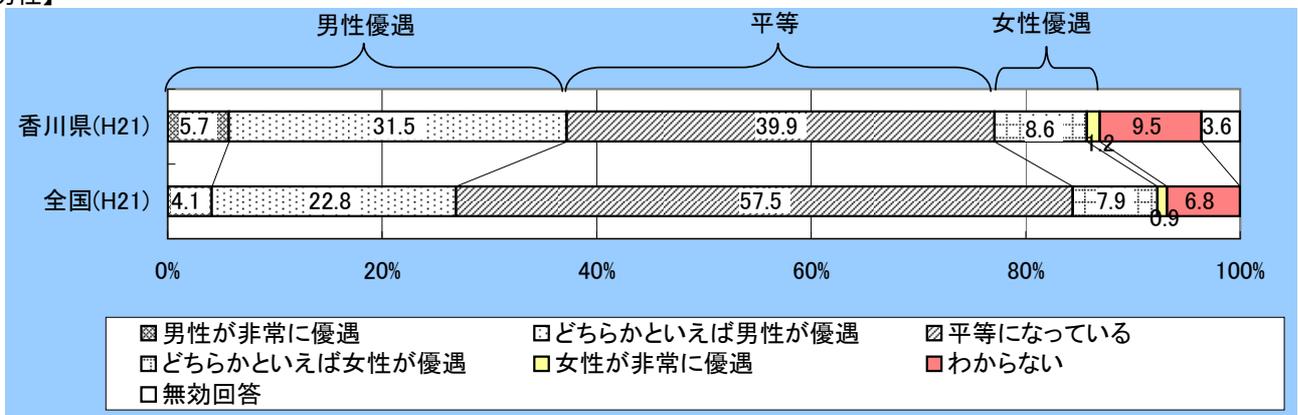
【全体】



【女性】



【男性】

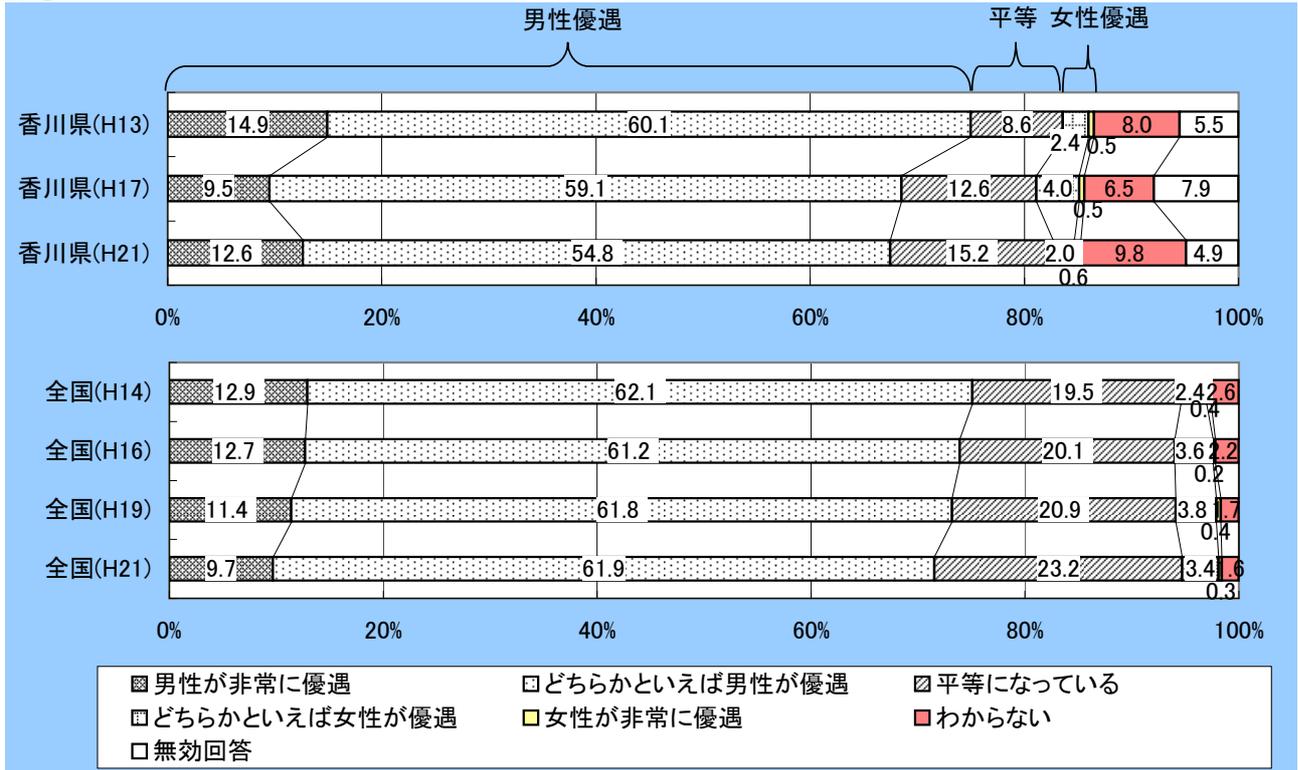


・ 全国調査と比べると、男女とも「男性優遇」が多く、「平等」が少ない。

※ 香川県調査の設問は「地域活動の場」、全国調査の設問は「自治会やNPOなどの地域活動の場」

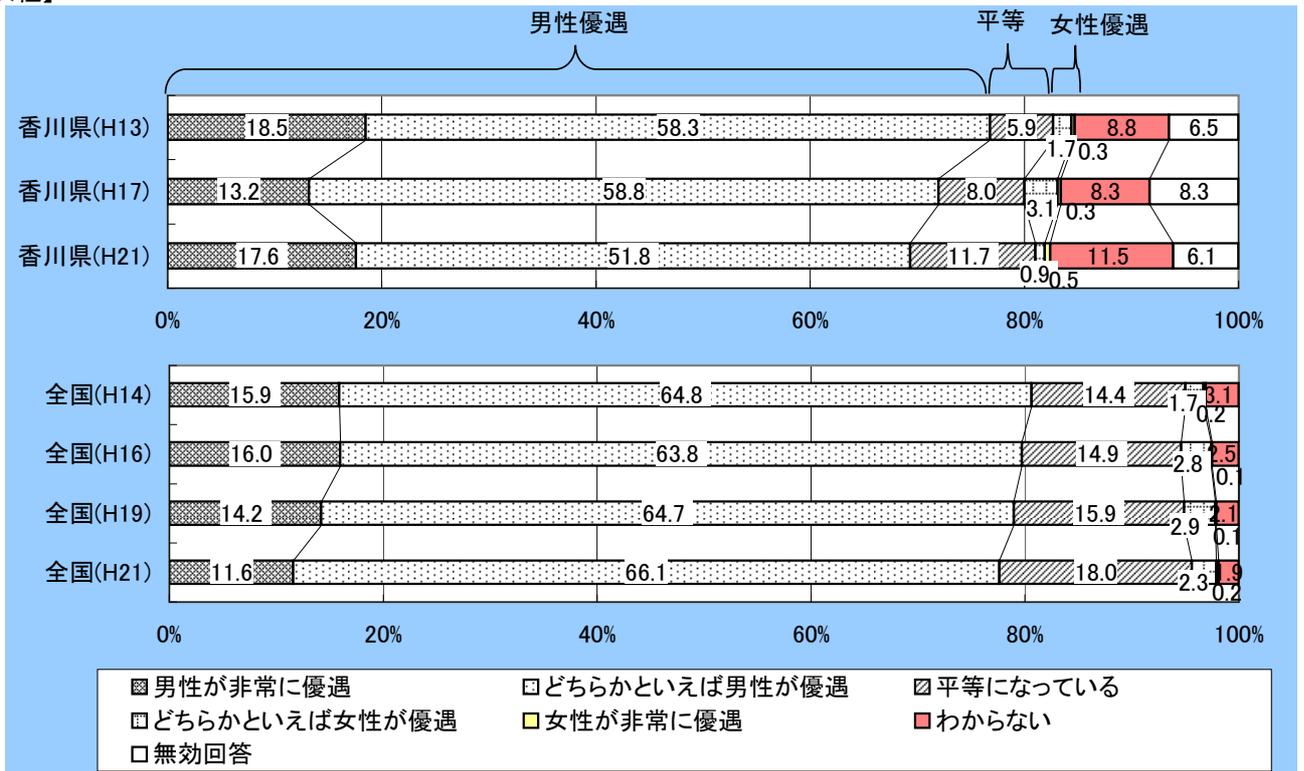
⑧社会全体

【全体】

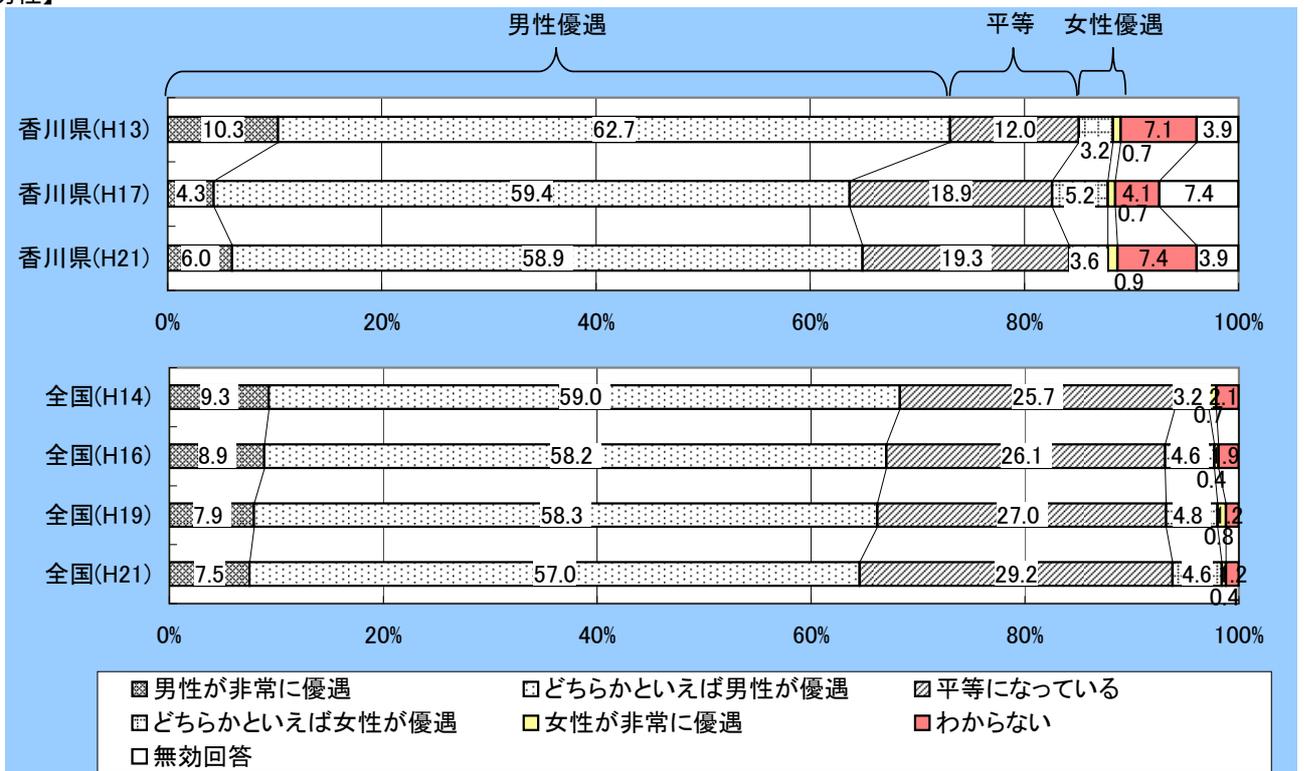


⑧社会全体

【女性】



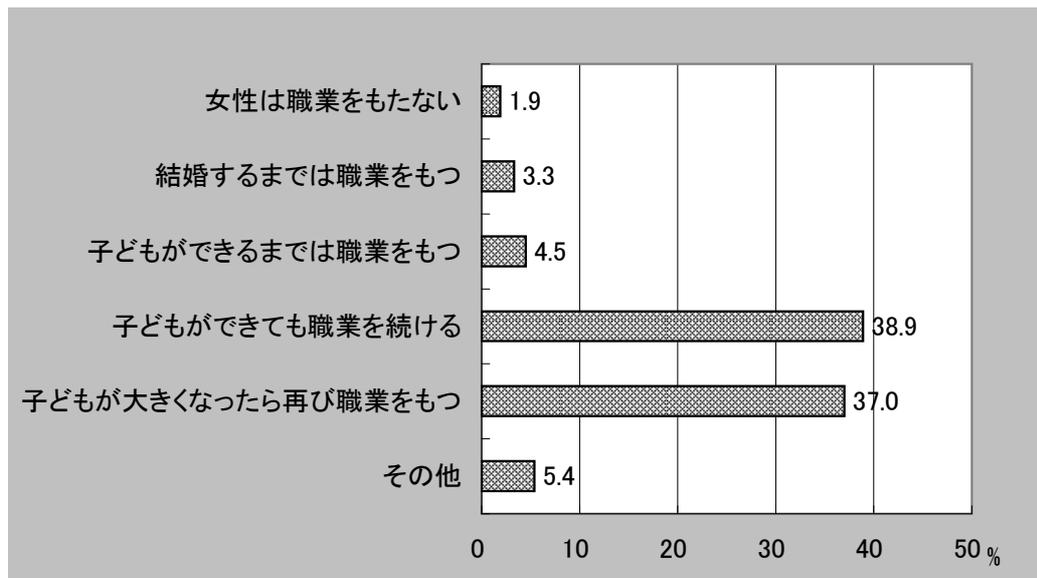
【男性】



- ・ 全体では、「男性優遇」が減少、「平等」が増加した。
- ・ 「男性優遇」は女性では減少、男性では増加した。
- ・ 全国調査と比較して、「男性優遇」は女性では少なく、男性は同程度となった。

3 女性が職業を持つことについて

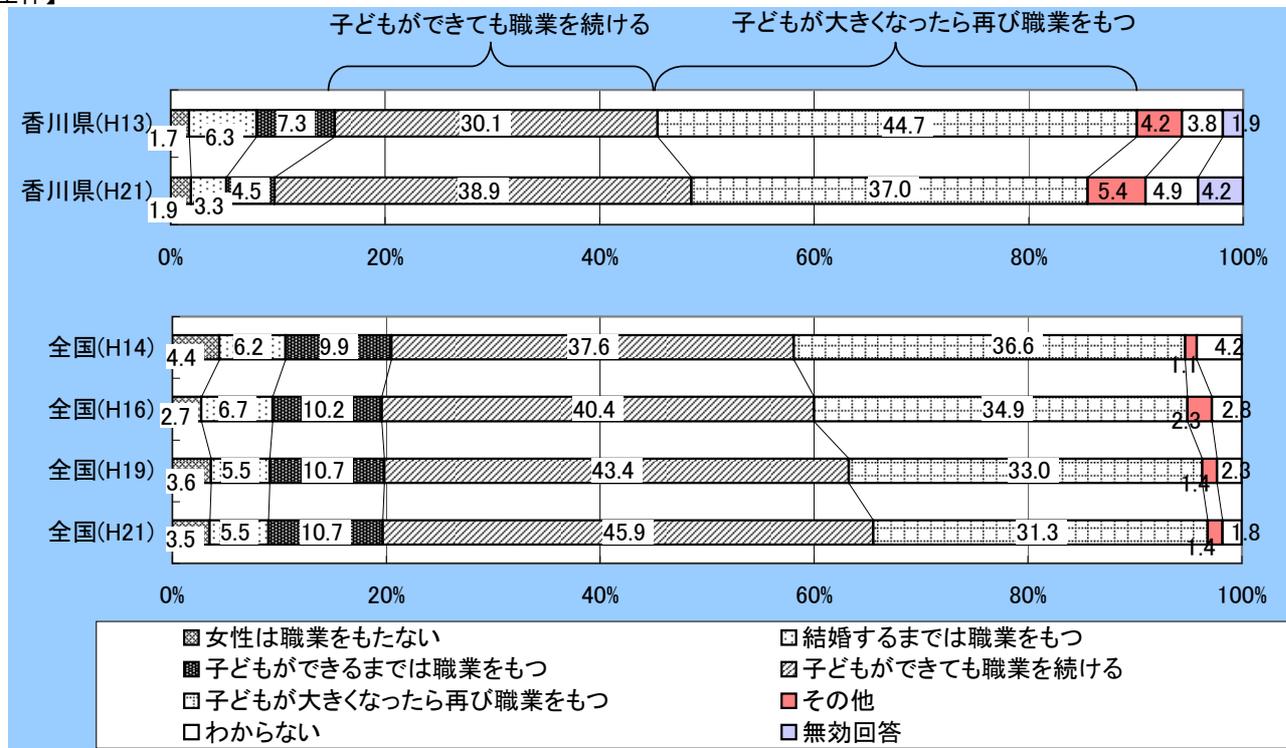
(問12)



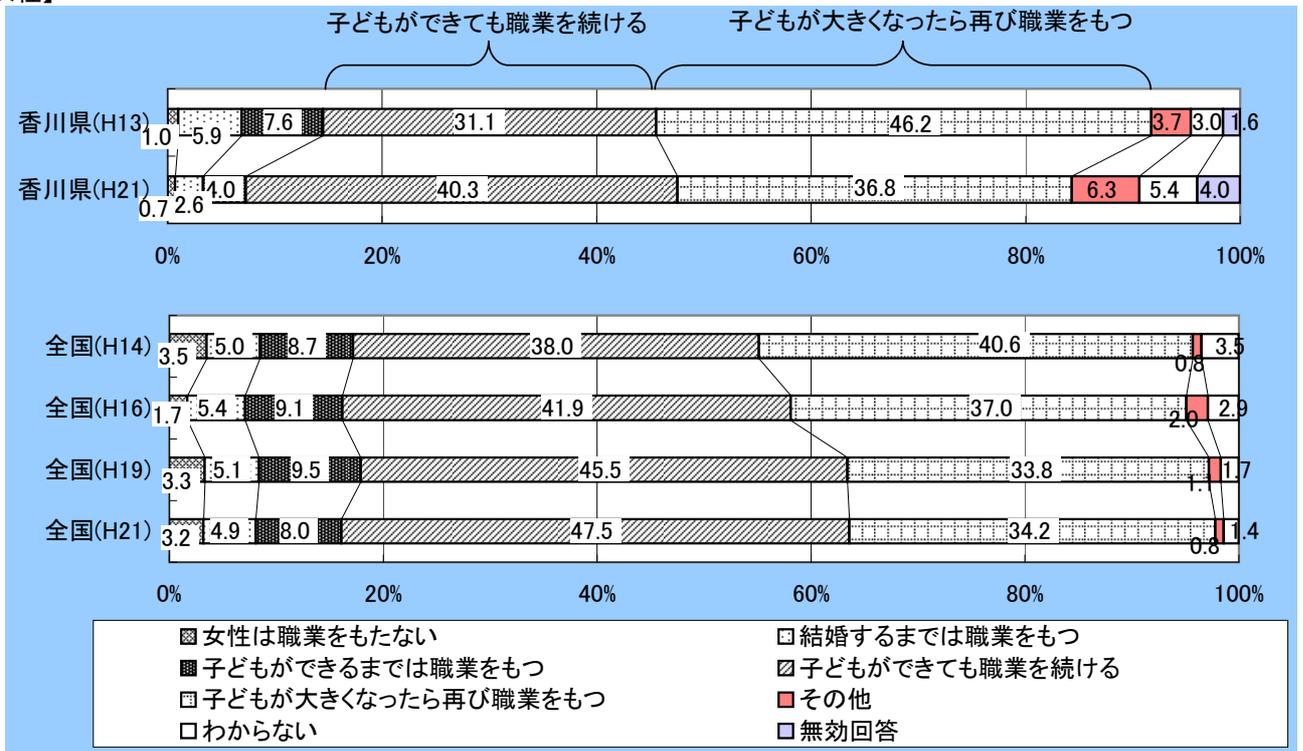
子どもができて、ずっと続けることを支持する意見が最も多く、次いで、子どもができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業を持つことを支持する意見が多くなった。
一方、「女性は職業をもたない」、「結婚するまでは職業をもつ」、「子どもができるまでは職業をもつ」などの意見は少数となった。

〔経年／全国比較〕

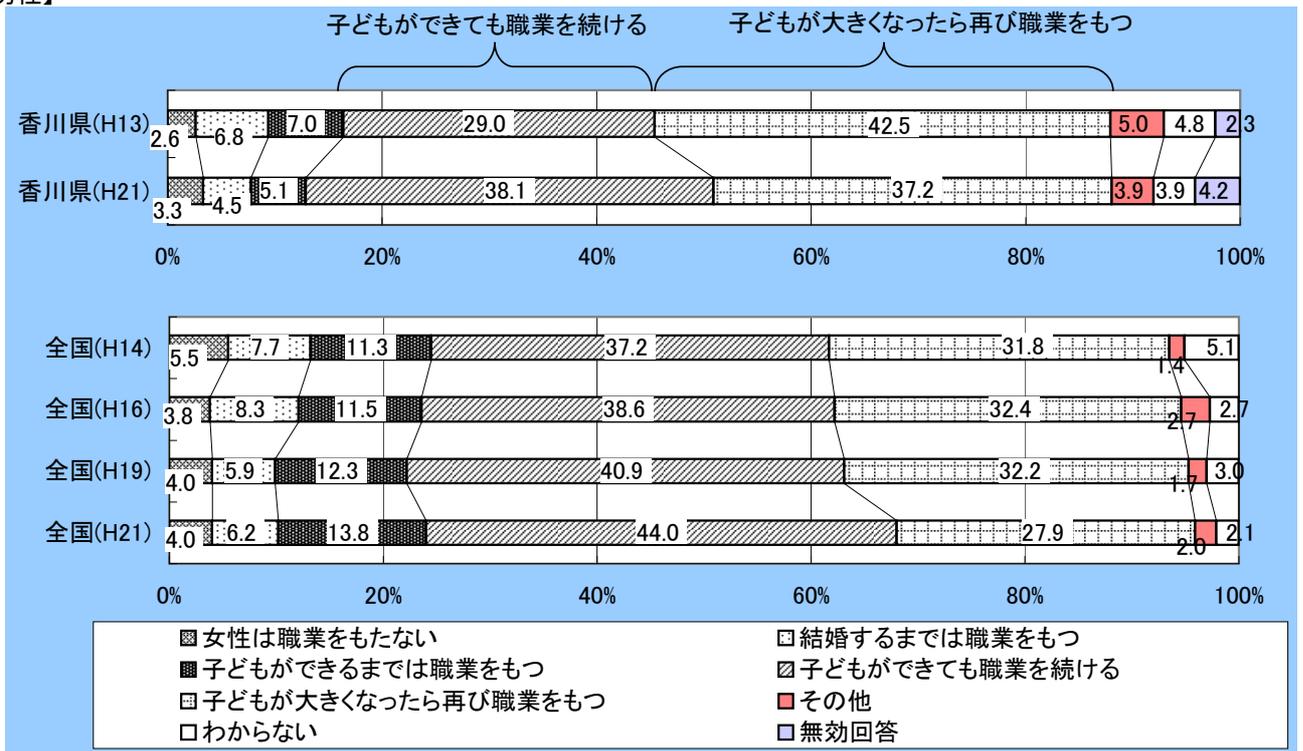
【全体】



【女性】



【男性】

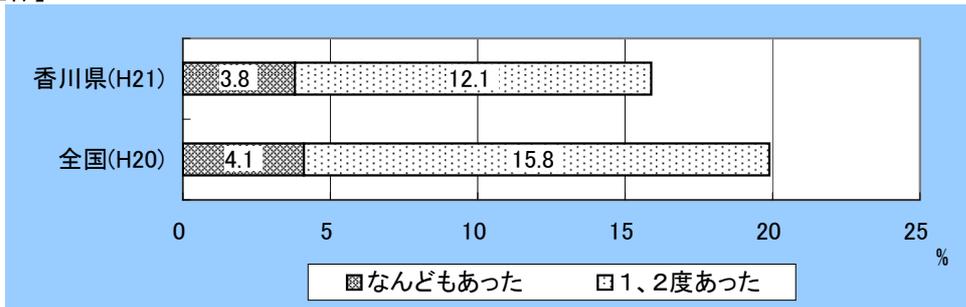


- ・男女とも、「子どもができて、ずっと職業を続けるほうがよい」が増加、「子どもができたから職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつほうがよい」が減少した。
- ・全国調査と比較して、男女とも、「子どもができて、ずっと職業を続ける」、「女性は無職」、「結婚するまでは職業をもつ」、「子どもができるまでは職業をもつ」は少なく、「子どもができたから職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつほうがよい」は多い。

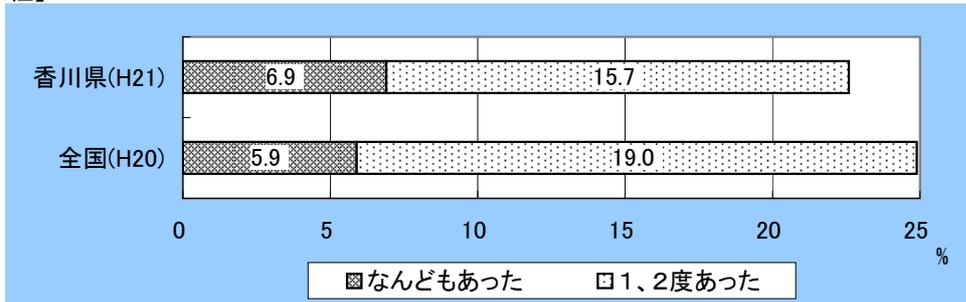
4 配偶者からの暴力の被害経験

①なぐったり、けったり、物をなげつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴力を受けた

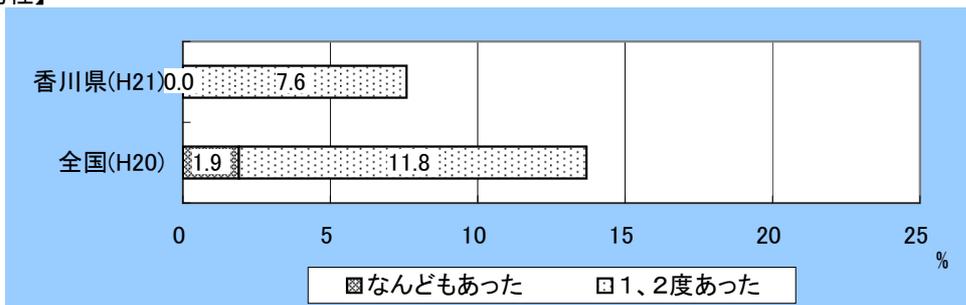
【全体】



【女性】



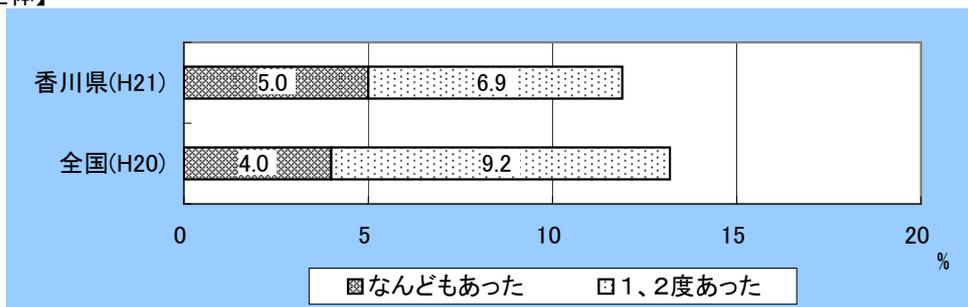
【男性】



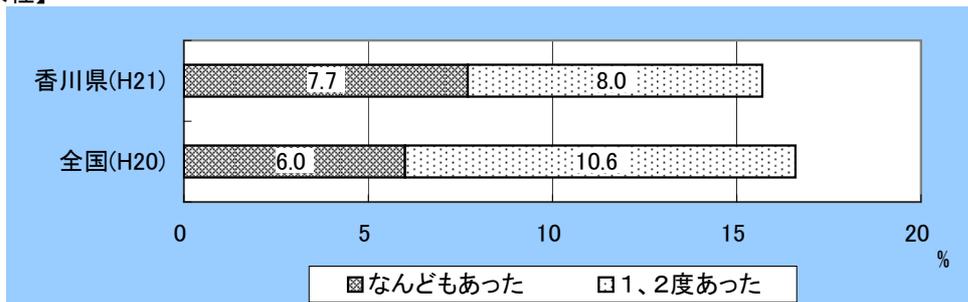
- ・女性の被害経験は、全国調査と比較するとやや少ないが、「なんどもあった」割合はやや多い。
- ・男性の被害経験は、全国調査と比較すると少ない。

②人格を否定するような暴言や交友関係を細かく監視するなどの精神的な嫌がらせを受けた、あるいは、あなたもしくはあなたの家族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫を受けた

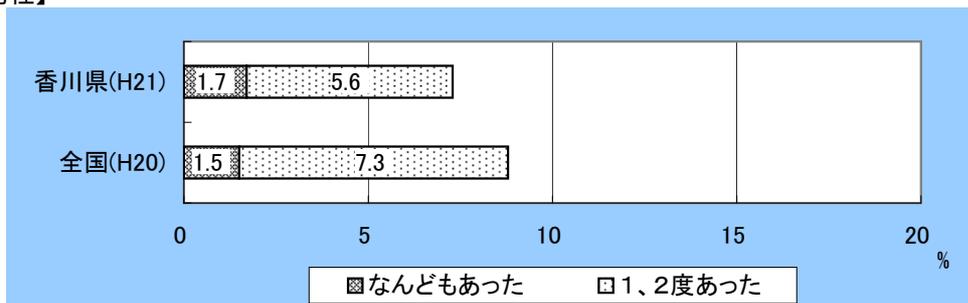
【全体】



【女性】



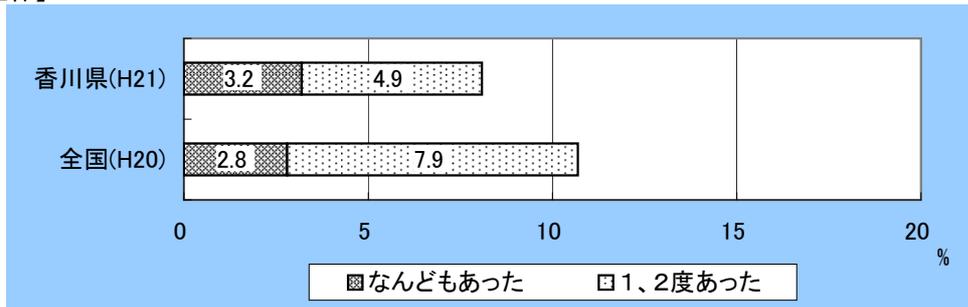
【男性】



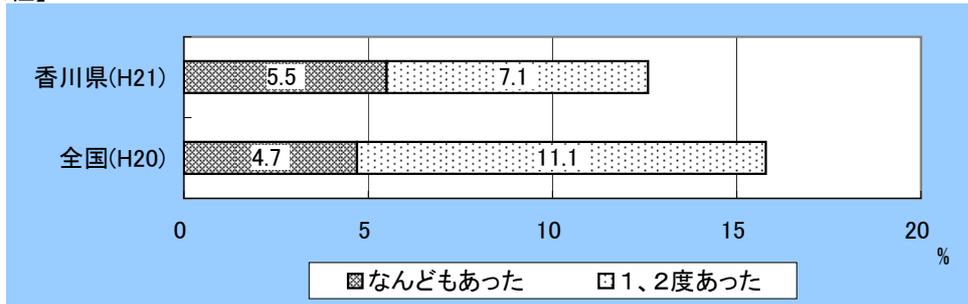
- ・女性の被害経験は、全国調査と比較するとやや少ないが、「なんどもあった」割合はやや多い。
- ・男性の被害経験は、全国調査と比較するとやや少ないが、「なんどもあった」割合は同程度となった。

③いやがっているのに性的な行為を強要された

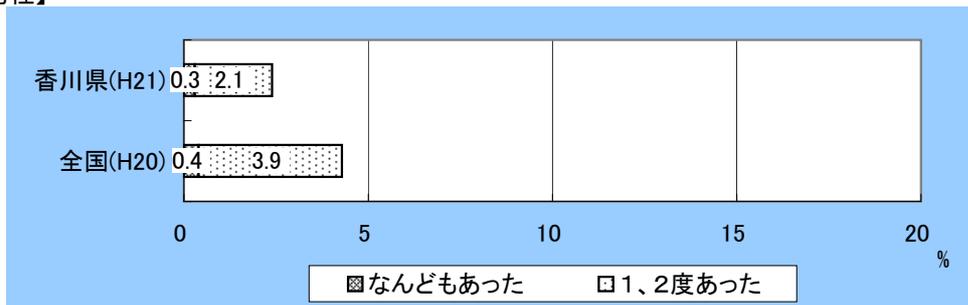
【全体】



【女性】



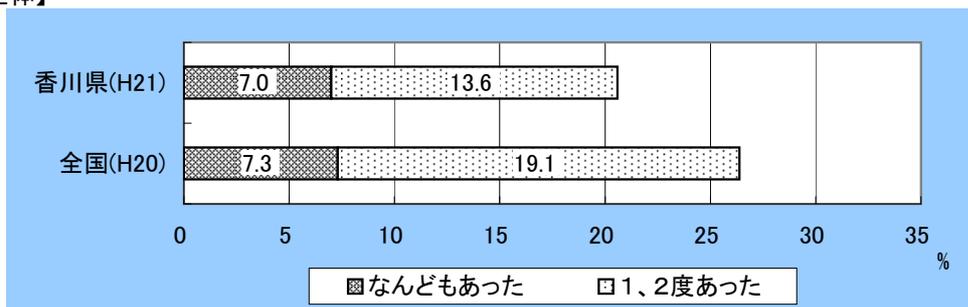
【男性】



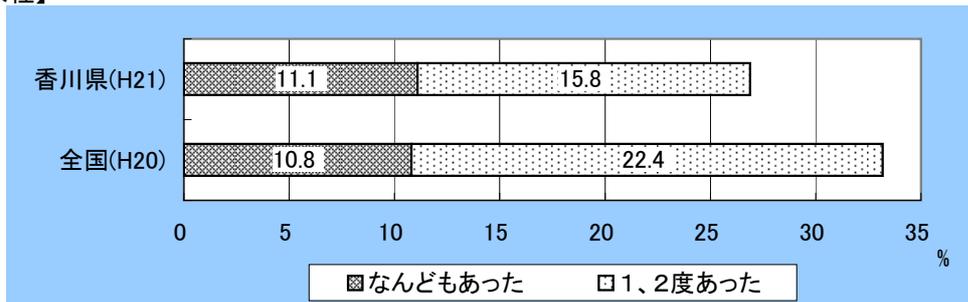
- ・ 女性の被害経験は、全国調査と比較するとやや少ないが、「なんどもあった」割合は同程度となった
- ・ 男性の被害経験は、全国調査と比較するとやや少ない。

④「身体的暴行」「心理的攻撃」「性的強要」のいずれかを受けた

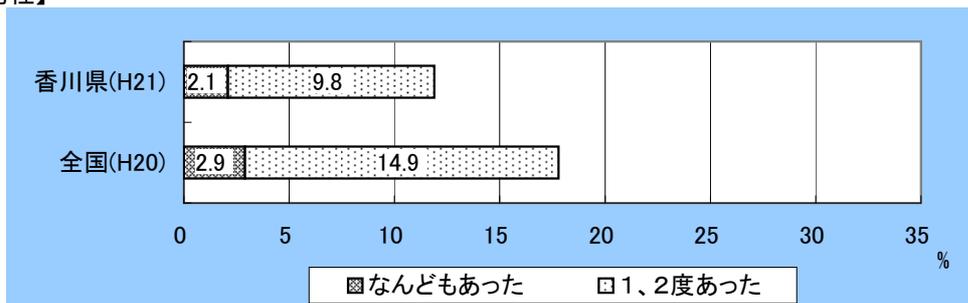
【全体】



【女性】



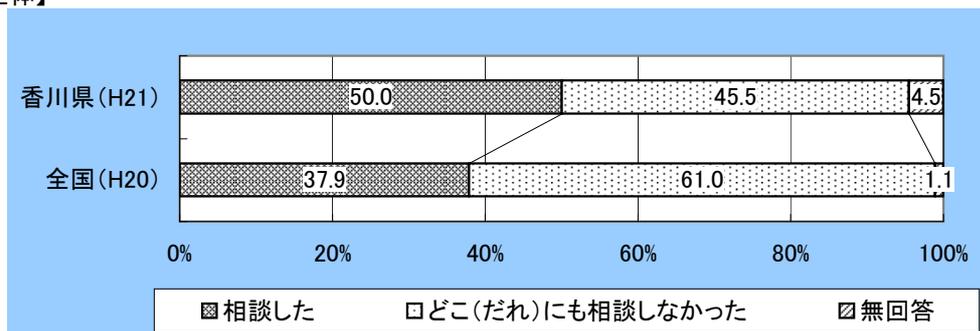
【男性】



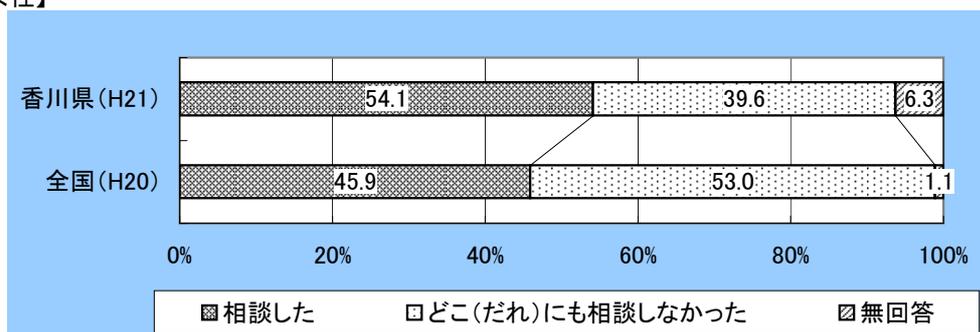
- ・ 女性の被害経験は、全国調査と比較すると少ないが、「なんどもあった」割合は同程度となった。
- ・ 男性の被害経験は、全国調査と比較すると少ないが、「なんどもあった」割合は同程度となった。

5 配偶者からの暴力の相談先（相談の有無）

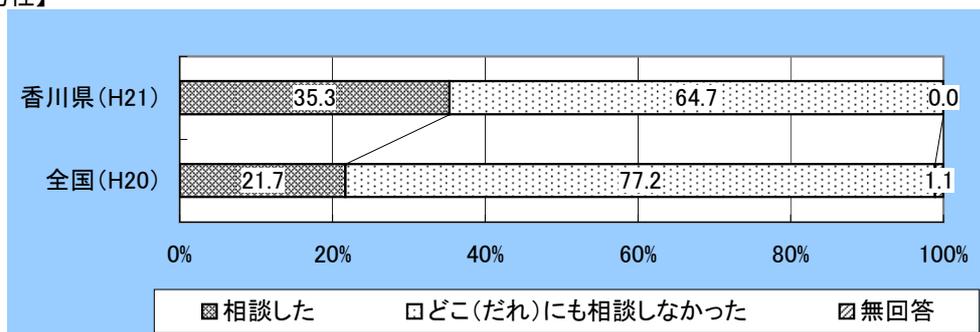
【全体】



【女性】



【男性】

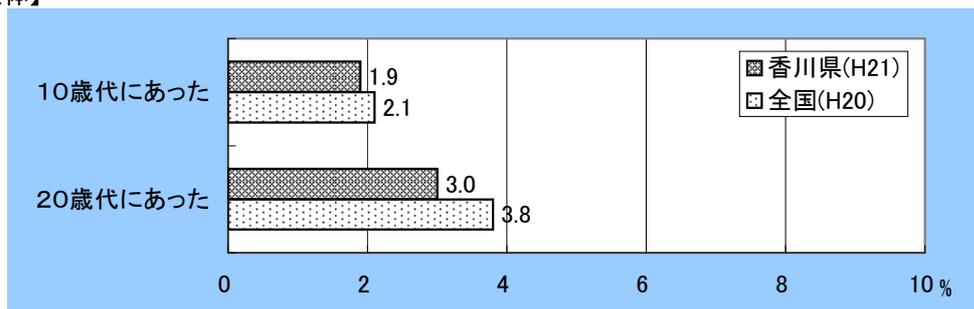


・ 全国調査と比較すると、男女とも「どこ（だれ）にも相談しなかった」割合は少ない。

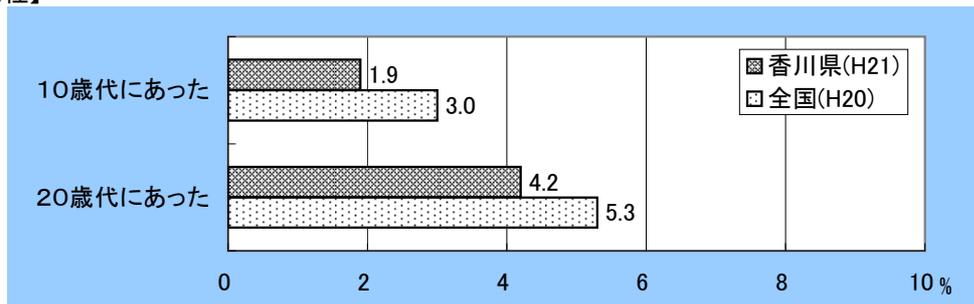
6 交際相手からの暴力の被害経験

①なぐったり、けったり、物をなげつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴力を受けた

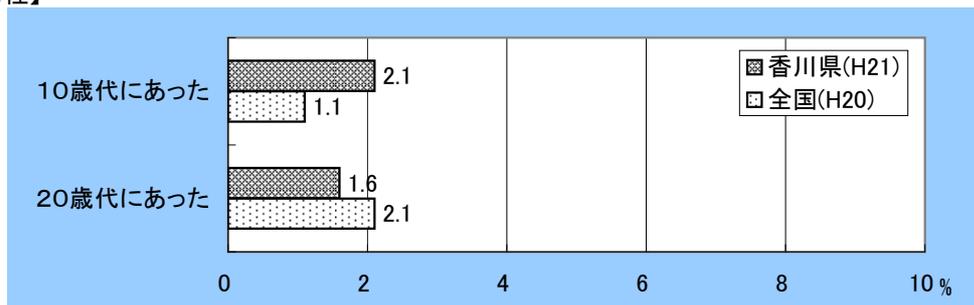
【全体】



【女性】



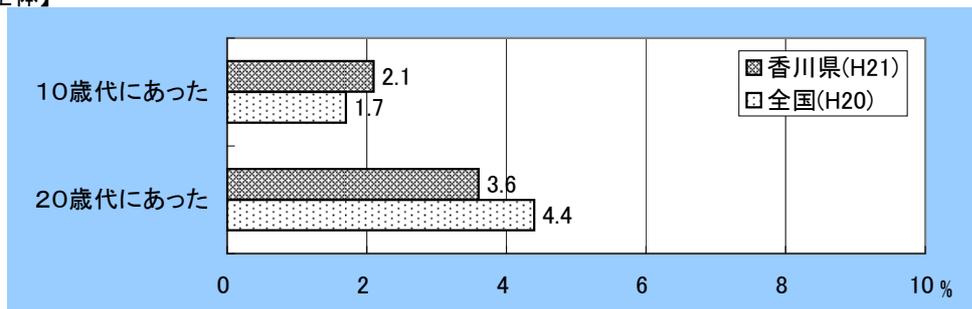
【男性】



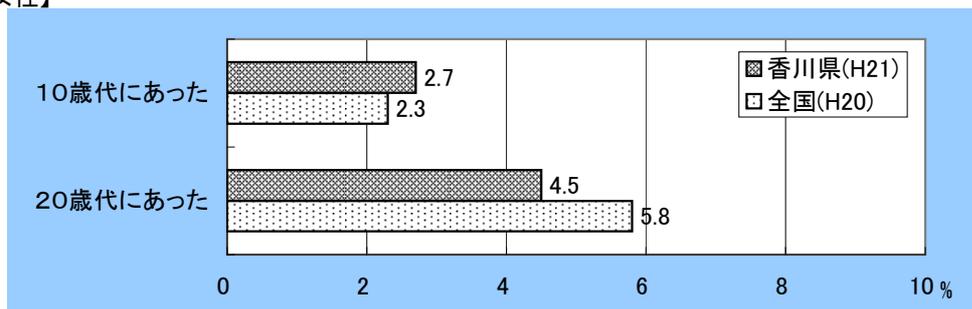
- ・女性の被害経験は、全国調査と比較すると、10歳代、20歳代ともにやや少ない。
- ・男性の被害経験は、全国調査と比較すると、10歳代でやや多く、20歳代で同程度となった。

②人格を否定するような暴言や交友関係を細かく監視するなどの精神的な嫌がらせを受けた、
あるいは、あなたもしくはあなたの家族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫を受けた

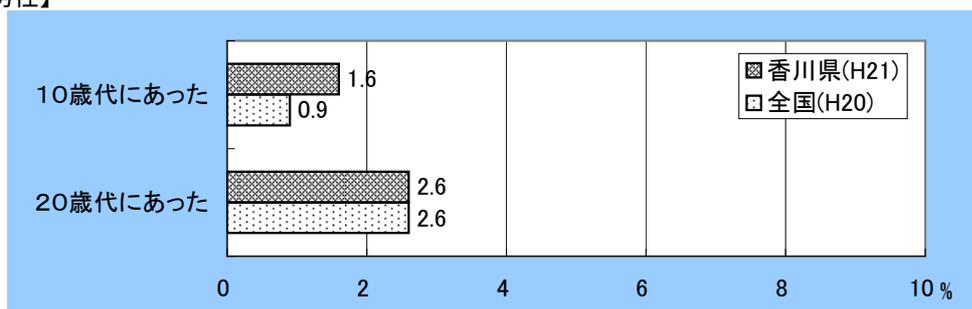
【全体】



【女性】



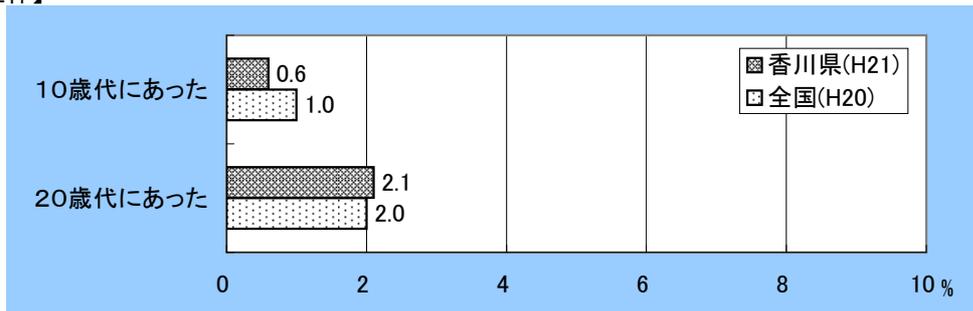
【男性】



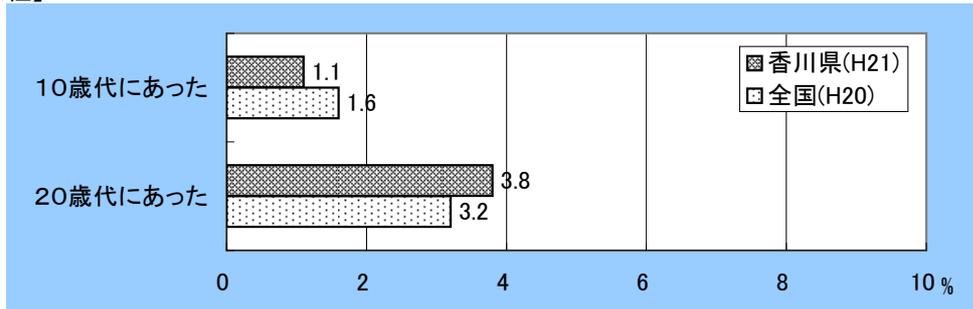
- ・女性の被害経験は、全国調査と比較すると、10歳代で同程度、20歳代でやや少ない。
- ・男性の被害経験は、全国調査と比較すると、10歳代、20歳代ともに同程度となった。

③いやがっているのに性的な行為を強要された

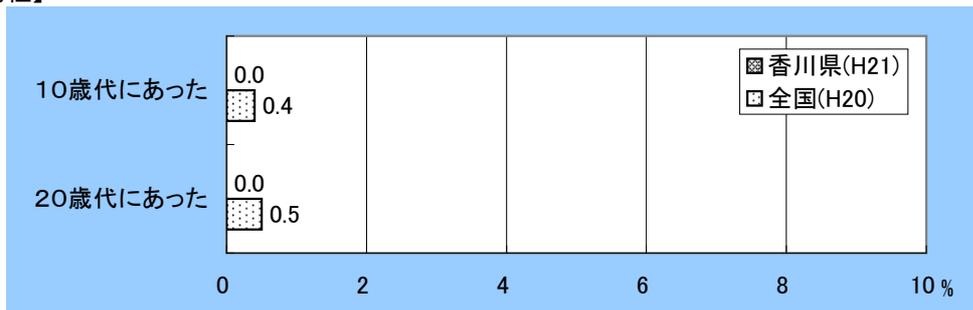
【全体】



【女性】

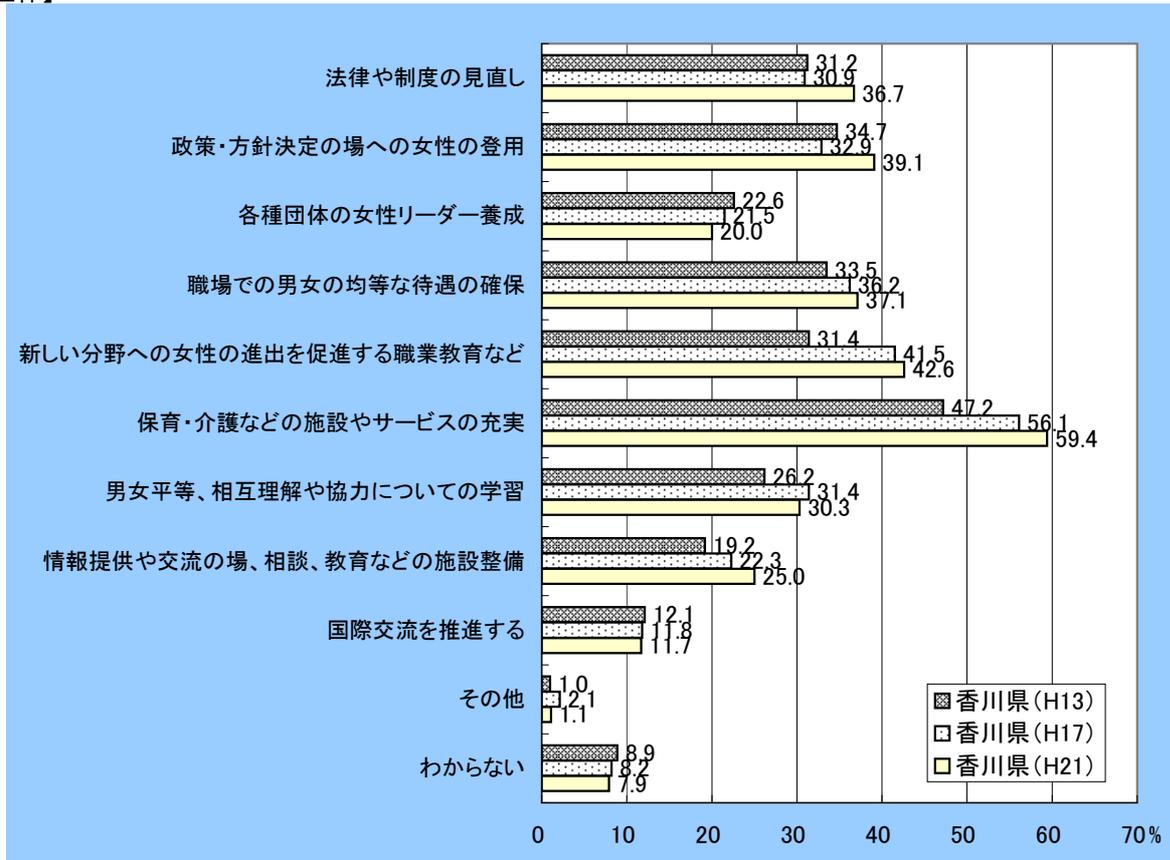


【男性】



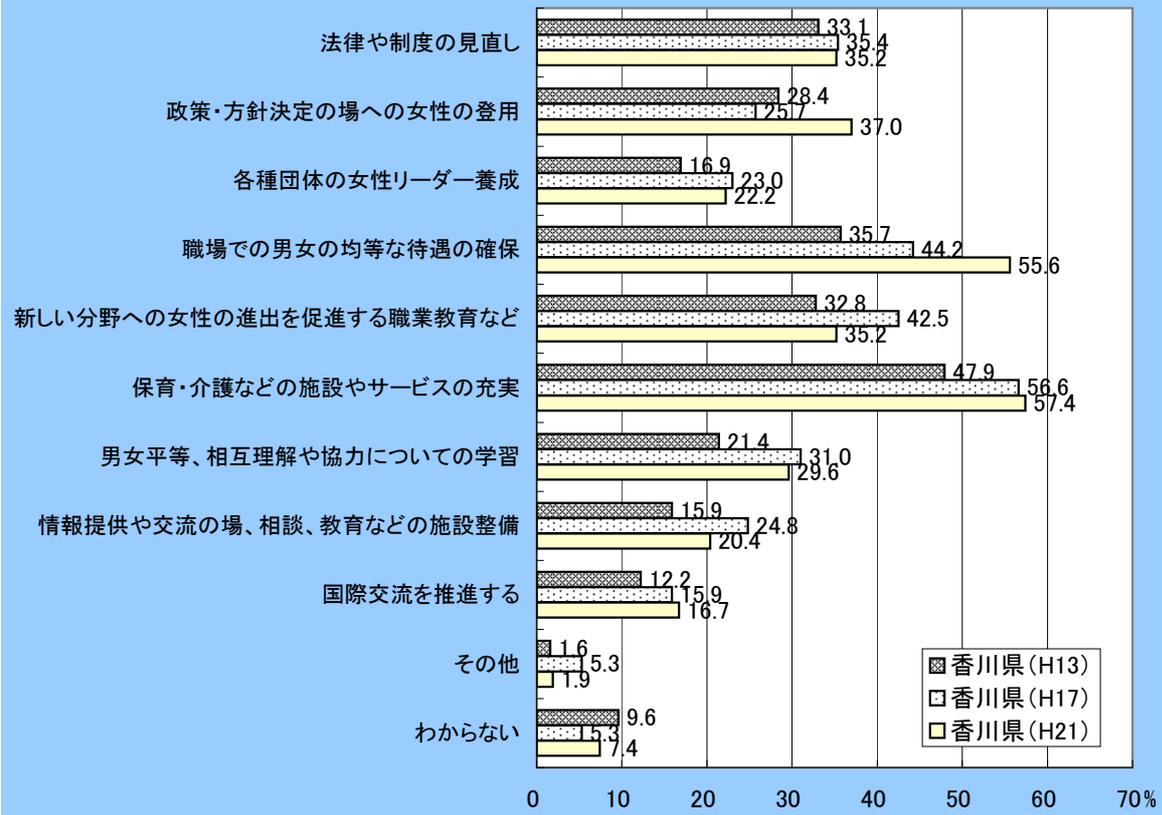
- ・女性の被害経験は、全国調査と比較すると、10歳代、20歳代ともに同程度となった。
- ・男性の被害経験は、香川県では、今回の調査では該当者がなかった。

【全体】

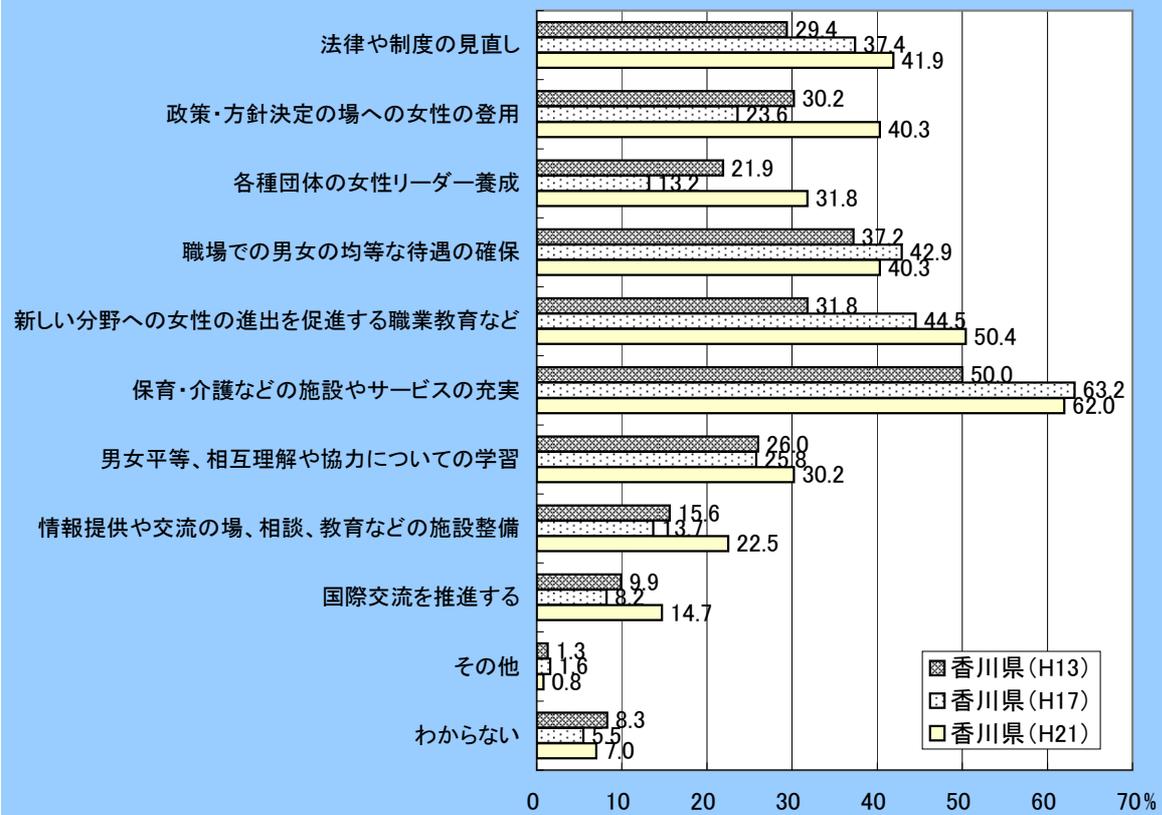


- ・平成13年度、17年度調査に引き続き、「保育・介護などの施設やサービスの充実」が最も多くなり、割合も増加した。
- ・20歳代では、「職場での男女の均等な待遇の確保」が増加し、2番目に多い回答となった。
- ・30～60歳代では、「新しい分野への女性の進出を促進する職業教育など」が、2番目に多い回答となった。

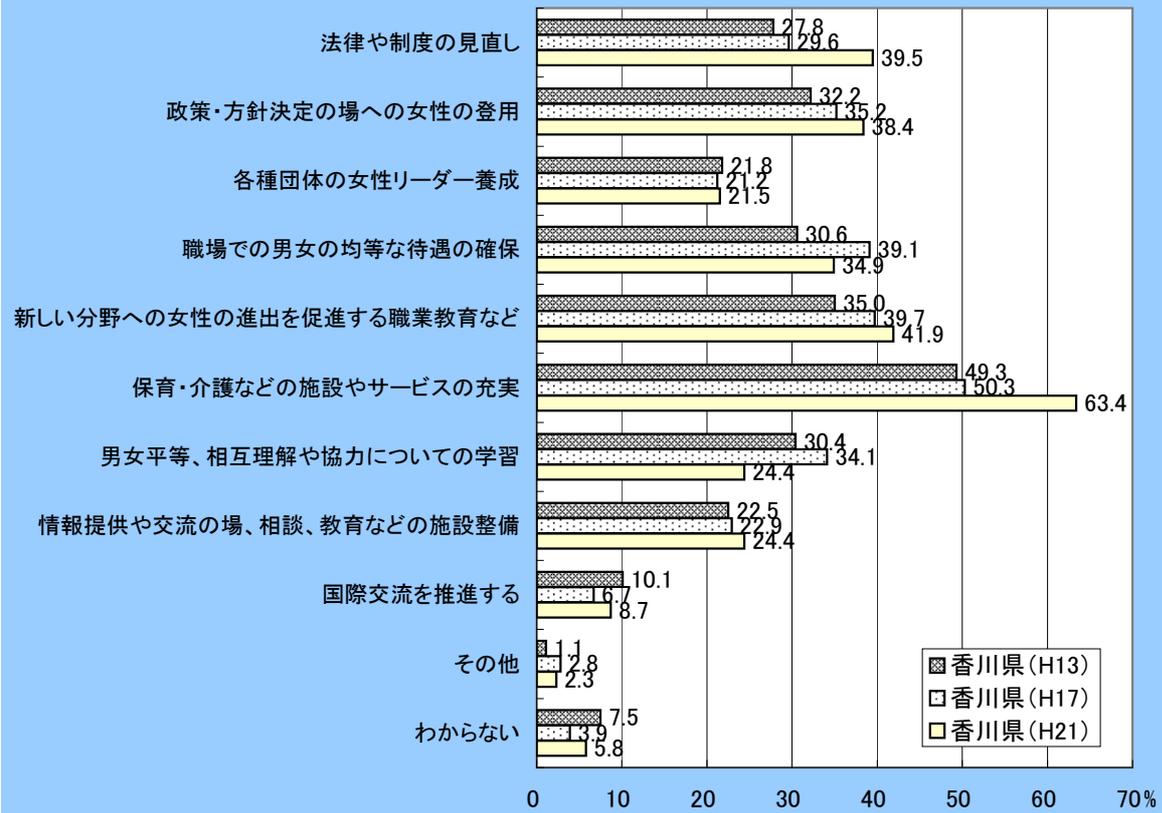
【20歳代】



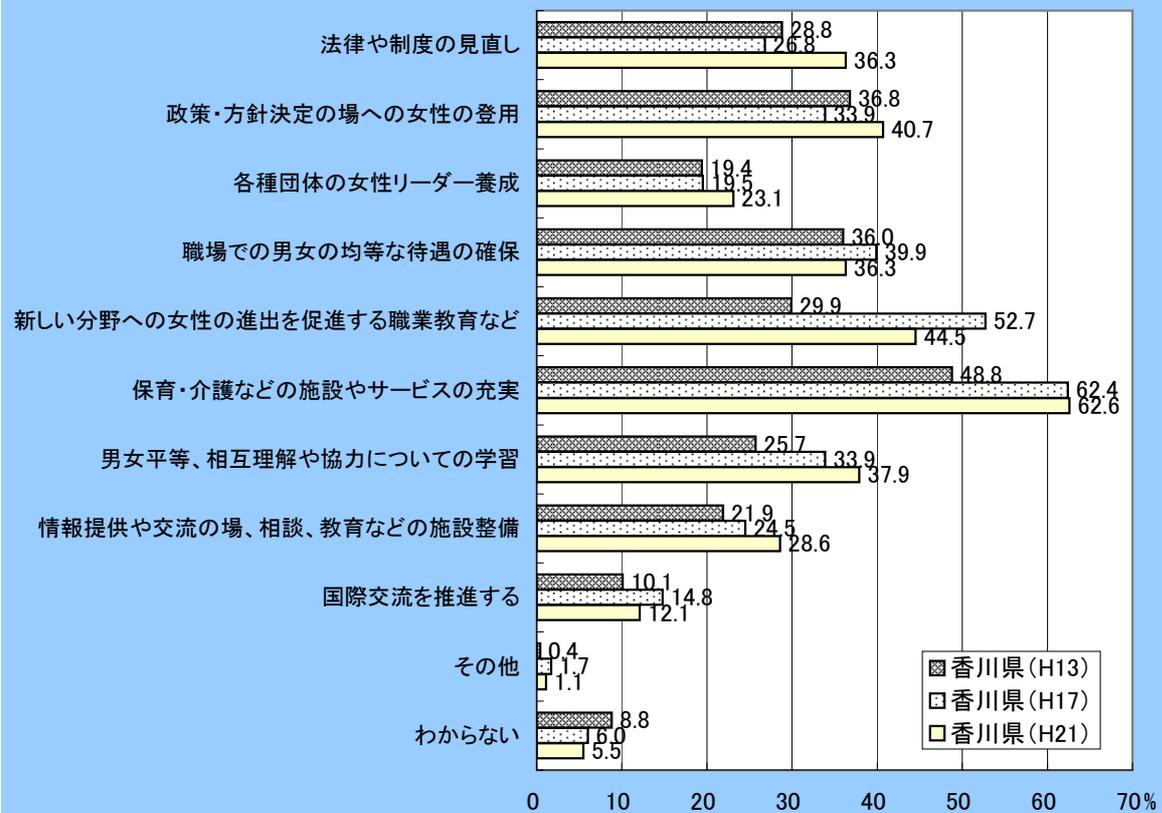
【30歳代】



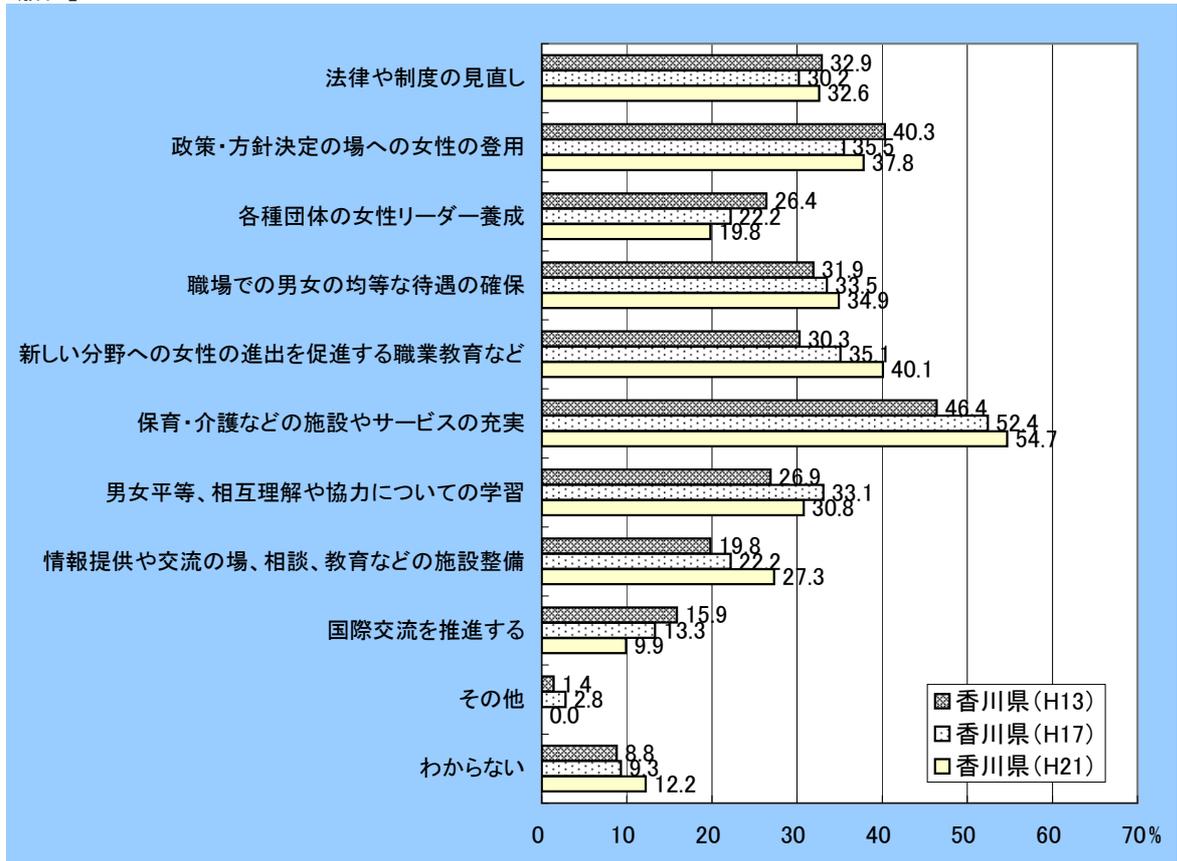
【40歳代】



【50歳代】



【60歳代】



【70歳以上】

